

投資家向け説明会 2025年3月期 第1四半期

ソフトバンク株式会社

2024年8月6日

（免責事項）

本資料に含まれる計画、見通し、戦略その他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報および合理的であると判断している一定の前提に基づいており、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績などは、経営環境の変動などにより、当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

（本資料上記載されている数値の定義について）

本資料上記載されている数値の定義についてはデータシートをご参照ください。

- 全セグメントが増収増益。通期予想の達成に向け順調
- モバイル売上高は堅調に推移、前年同期比で増収が継続
- ファイナンスが黒字転換、PayPay連結が四半期ベースで初の営業利益黒字化

増収増益。通期予想に対する進捗はいずれも順調

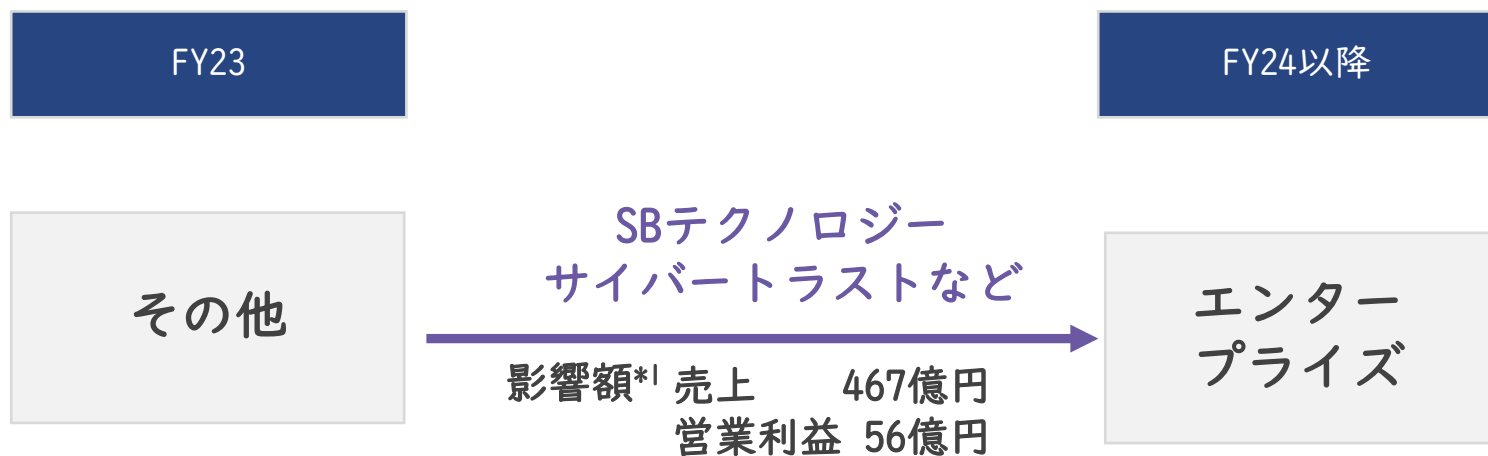
(億円)	FY23 Q1	FY24 Q1	増減	増減率	進捗率
売上高	14,297	15,357	+1,061	+7.4%	24.8%
調整後 EBITDA*1	4,309	4,606	+297	+6.9%	27.4%
営業利益	2,463	3,039	+576	+23.4%	33.8%
純利益*2	1,467	1,625	+158	+10.8%	32.5%

- 営業利益、純利益ともに進捗率30%超
- 売上高と営業利益はQ1として過去最高

*1：調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費及び償却費(固定資産除却損含む) + 株式報酬費用 ± その他の調整項目 (以下本編内において同様)

*2：純利益は、親会社の所有者に帰属する純利益 (以下本編内において同様)

SBテクノロジーとその子会社をエンタープライズに移管



- SBテクノロジーをTOBにより完全子会社化、エンジニアリソースと高い技術力を結集し、エンタープライズ事業の成長加速を目指す

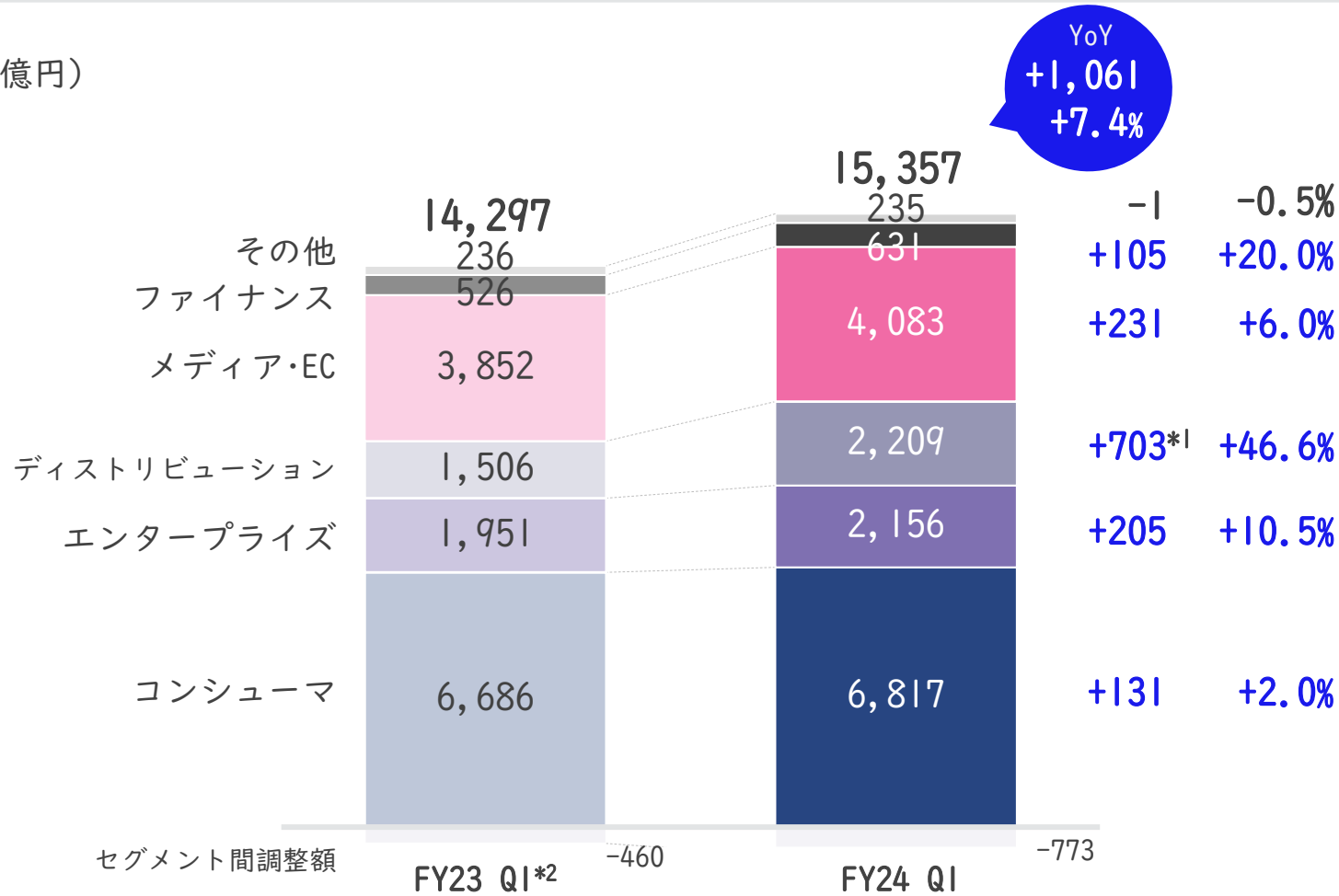
その他の遡及修正事項

- 子会社の事業区分を見直し、コンシューマ→「その他」へ (売上13億円、営業利益3億円*1)
- エンタープライズ内でIoT商材などをモバイル/固定→ソリューション等へ区分変更 (売上約120億円*1)

*1 : FY23実績

全セグメントで増収

(億円)



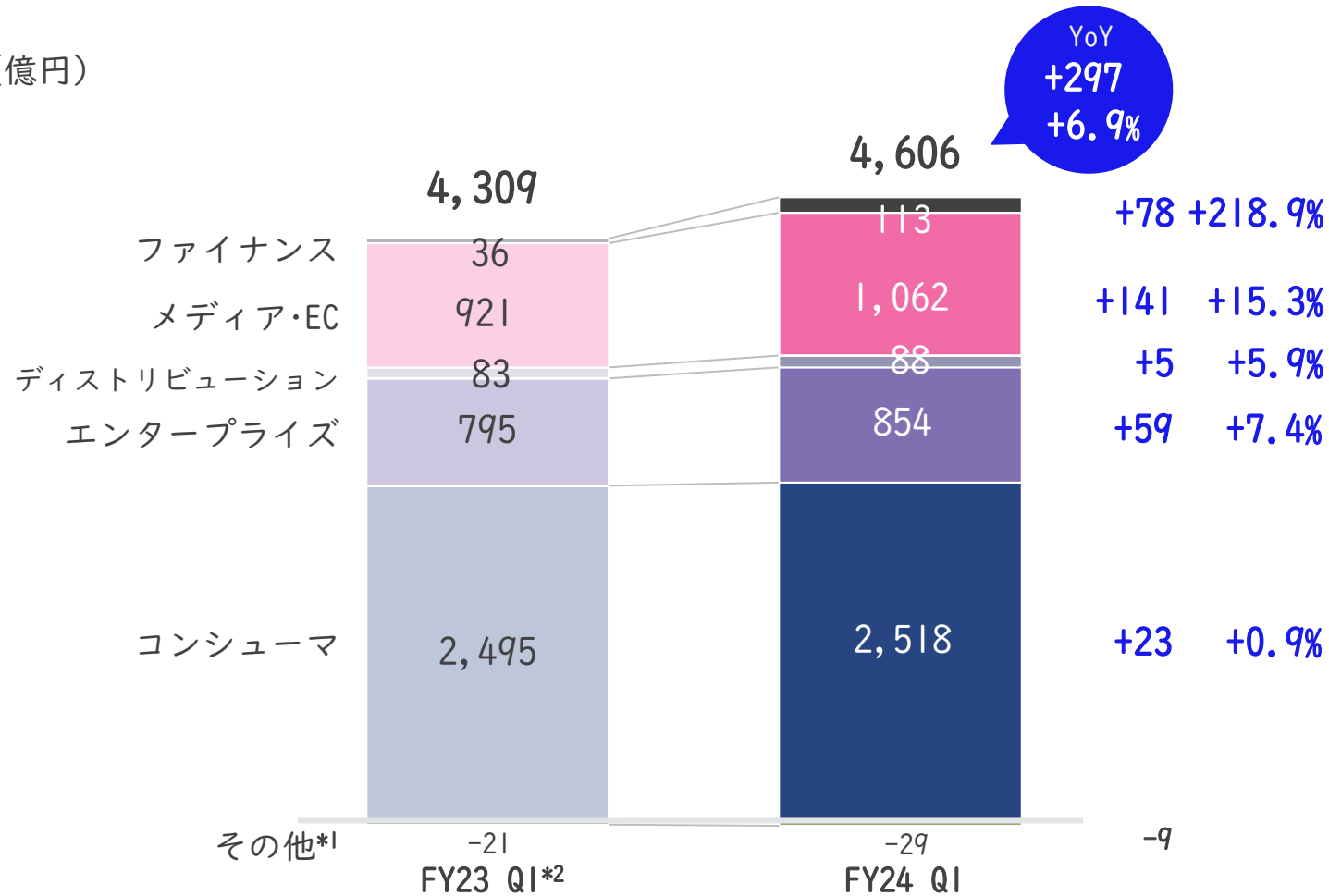
- 通期予想62,000億円に対する進捗率は24.8%
- Q1として過去最高の実績

*1: SB C&S(株)が、NVIDIAから仕入れたAI計算基盤をソフトバンク(株)へ売却したことによる売上高の増加分212億円を含む

*2: FY23 Q1 数値は遡及修正後。遡及修正の内容はP4参照

全セグメントで増益

(億円)



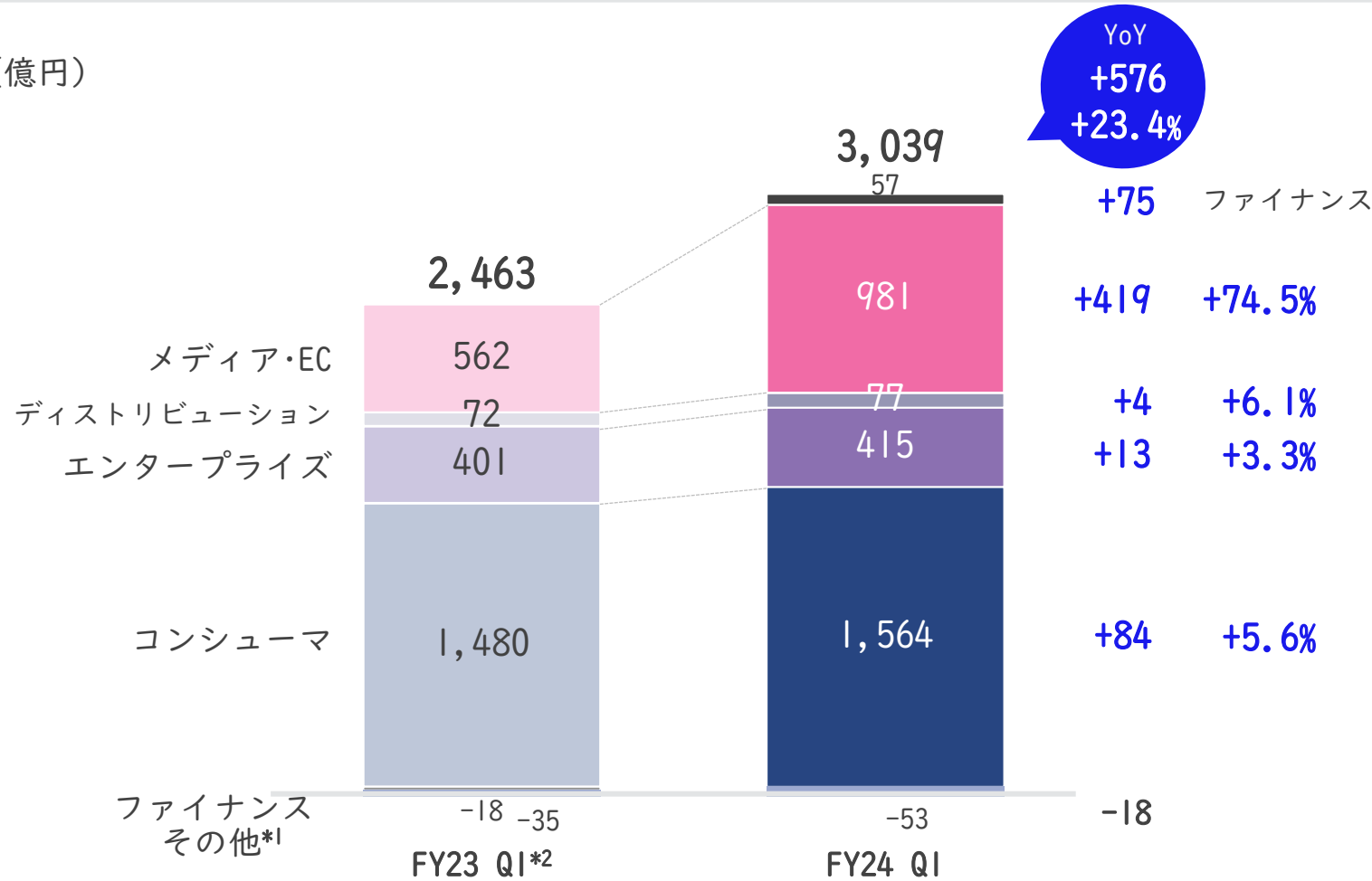
- 通期予想16,800億円に対する進捗率は27.4%

*1: その他はセグメント間調整額を含む (FY23 Q1:-11億円、FY24 Q1:-9億円)

*2: FY23 Q1数値は遡及修正後。遡及修正の内容はP4参照

全セグメントで増益。ファイナンスが黒字に転換

(億円)



- 通期予想9,000億円に対する進捗率は33.8%
- Q1として過去最高の実績
- メディア・ECの増益幅には一過性要因327億円含む(P13参照)

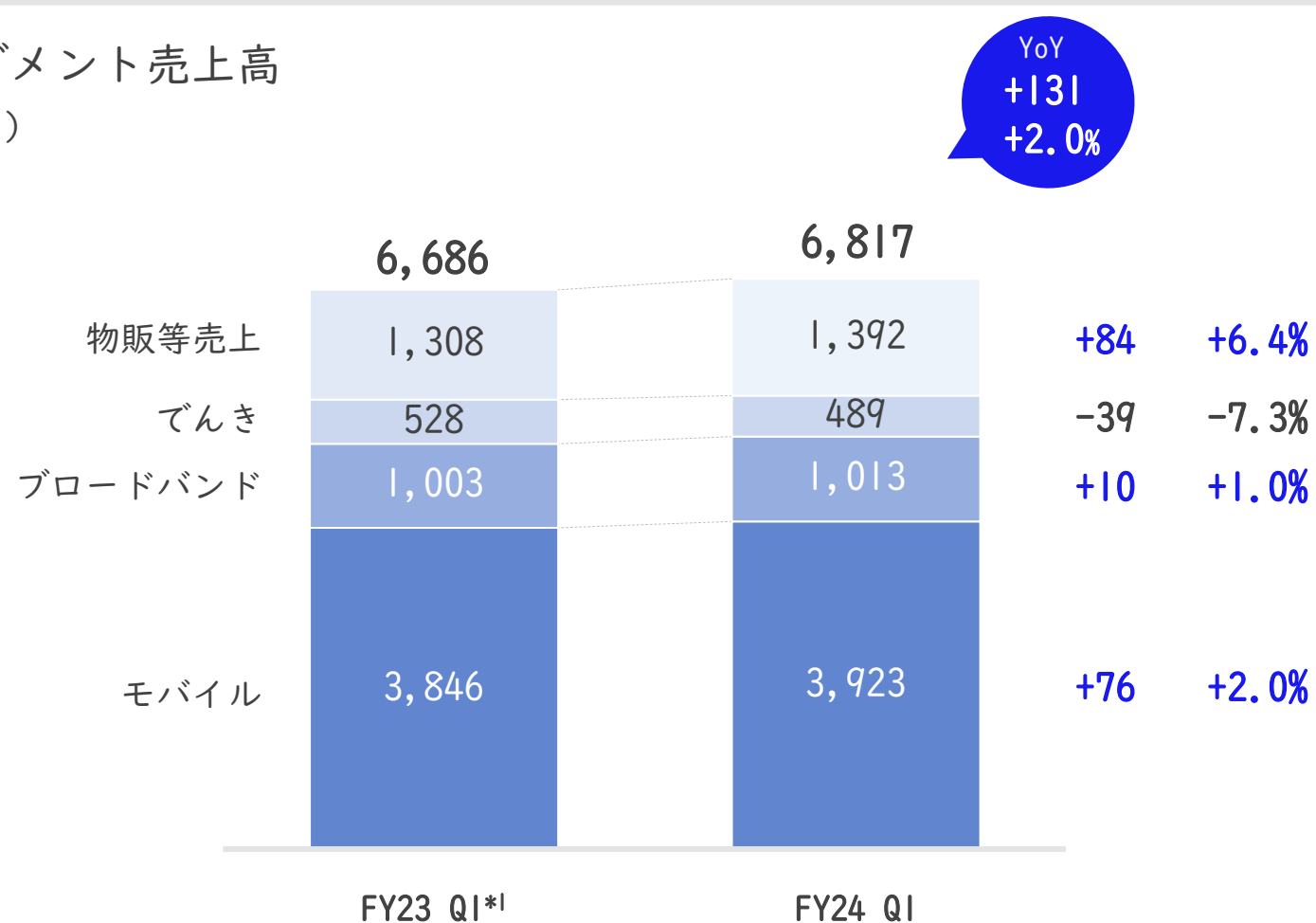
セグメント別通期予想

(億円)	FY23実績*2	FY24予想	増減率	対通期予想Q1進捗率
コンシューマ	4,952	5,300	+7.0%	29.5%
エンタープライズ	1,668	1,700	+1.9%	24.4%
ディストリビューション	262	280	+6.7%	27.4%
メディア・EC	1,980	2,300	+16.2%	42.6%
ファイナンス	-50	30	-	188.5%
その他	-52	-610	-	-
全社計	8,761	9,000	+2.7%	33.8%

*1: その他はセグメント間調整額を含む (FY23 Q1:-1億円、FY24 Q1:0億円) *2: FY23 Q1数値は遡及修正後。遡及修正の内容はP4参照

モバイルは増収を継続、物販等売上も改善

セグメント売上高
(億円)



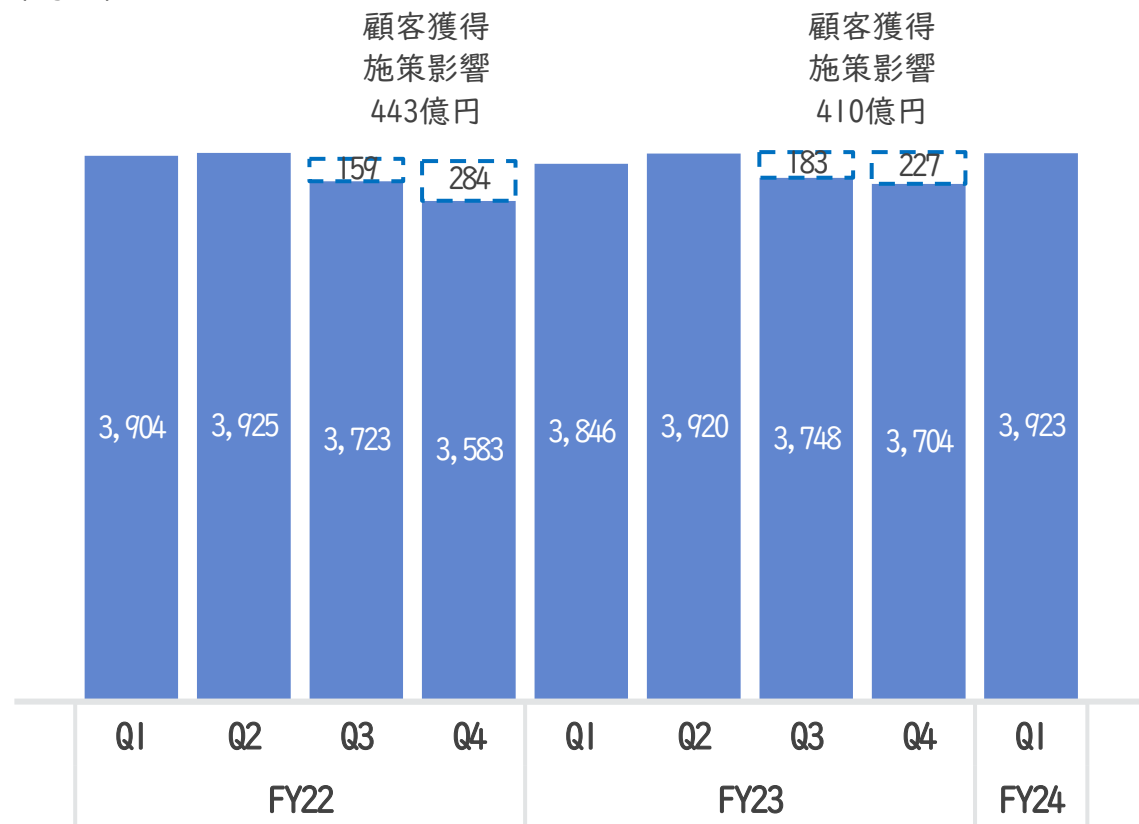
- 物販等売上
主に端末値引きの改善による増収
- でんき
契約件数の減少や燃料調整費単価の減少により減収
- ブロードバンド
契約数の増加により増収
- モバイル
主に契約数の増加などにより増収
ARPUの下げ止まりも貢献

*1: FY23 Q1 数値は遡及修正後。遡及修正の内容はP4参照

前年同期比で増収が継続

モバイル売上高 四半期推移

(億円)



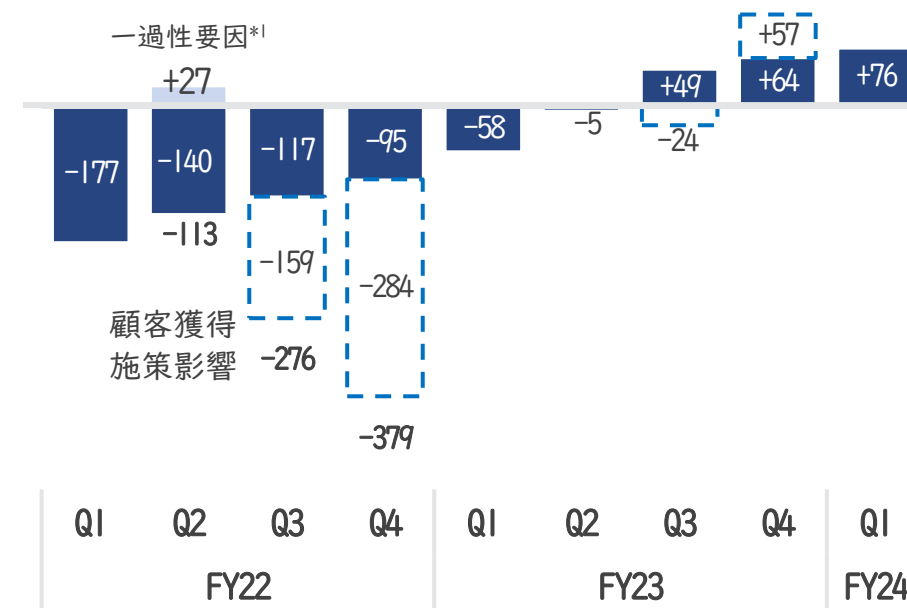
モバイル売上高 前年同期比

(億円)

-4.3%	-2.8%	-6.9%	-9.6%	-1.5%	-0.1%	+0.7%	+3.4%	+2.0%
-4.3%	-4.1%	-2.9%	-2.4%	-1.5%	-0.1%	+1.2%	+1.7%	+2.0%

増減率

※顧客獲得施策影響、一過性要因を除く実力値

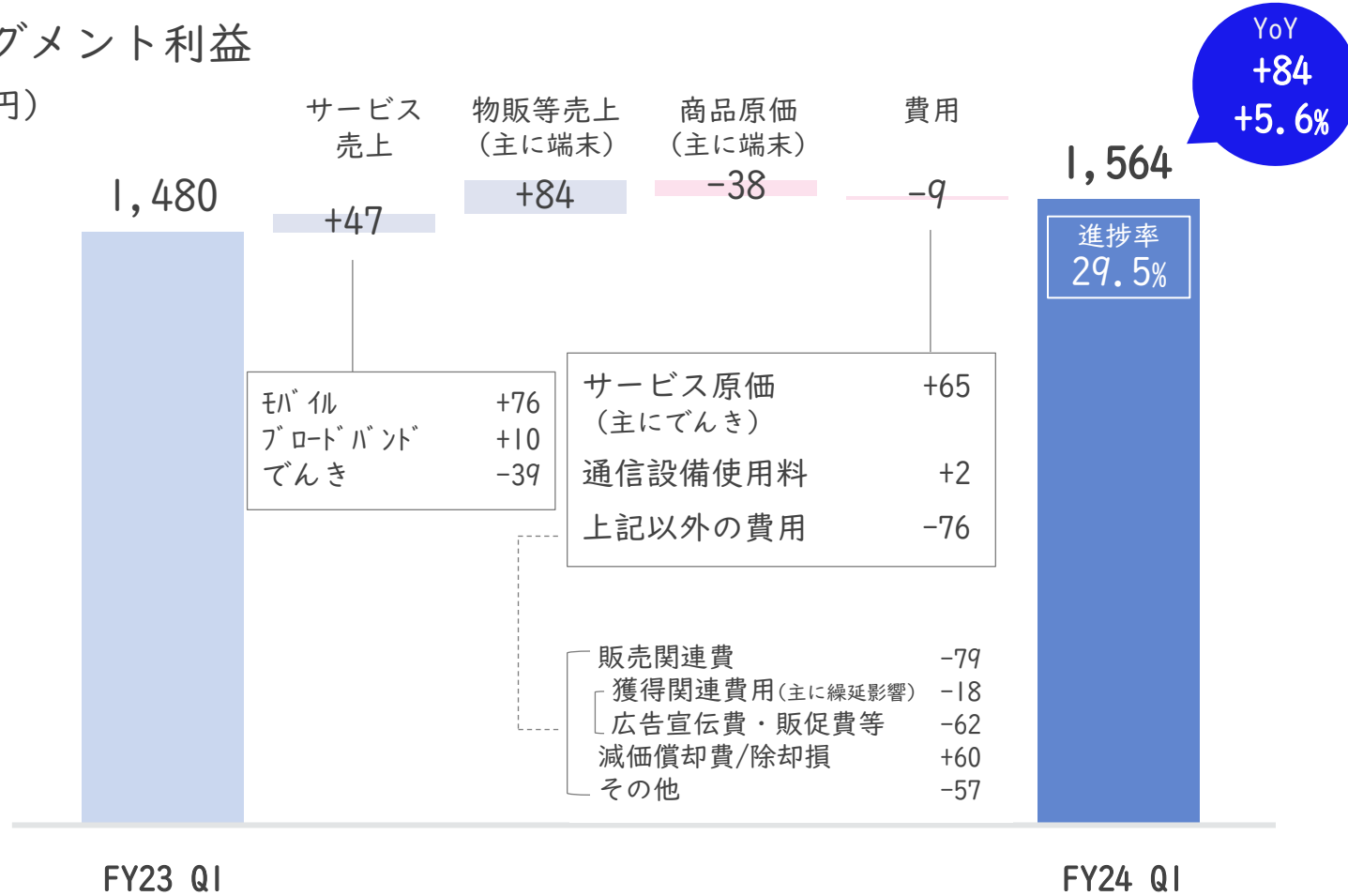


*1: FY21におけるデータくりこしの提供開始および基本料1ヶ月無料の影響

モバイル売上の回復や端末粗利の改善、減価償却費の減少などにより増益

セグメント利益

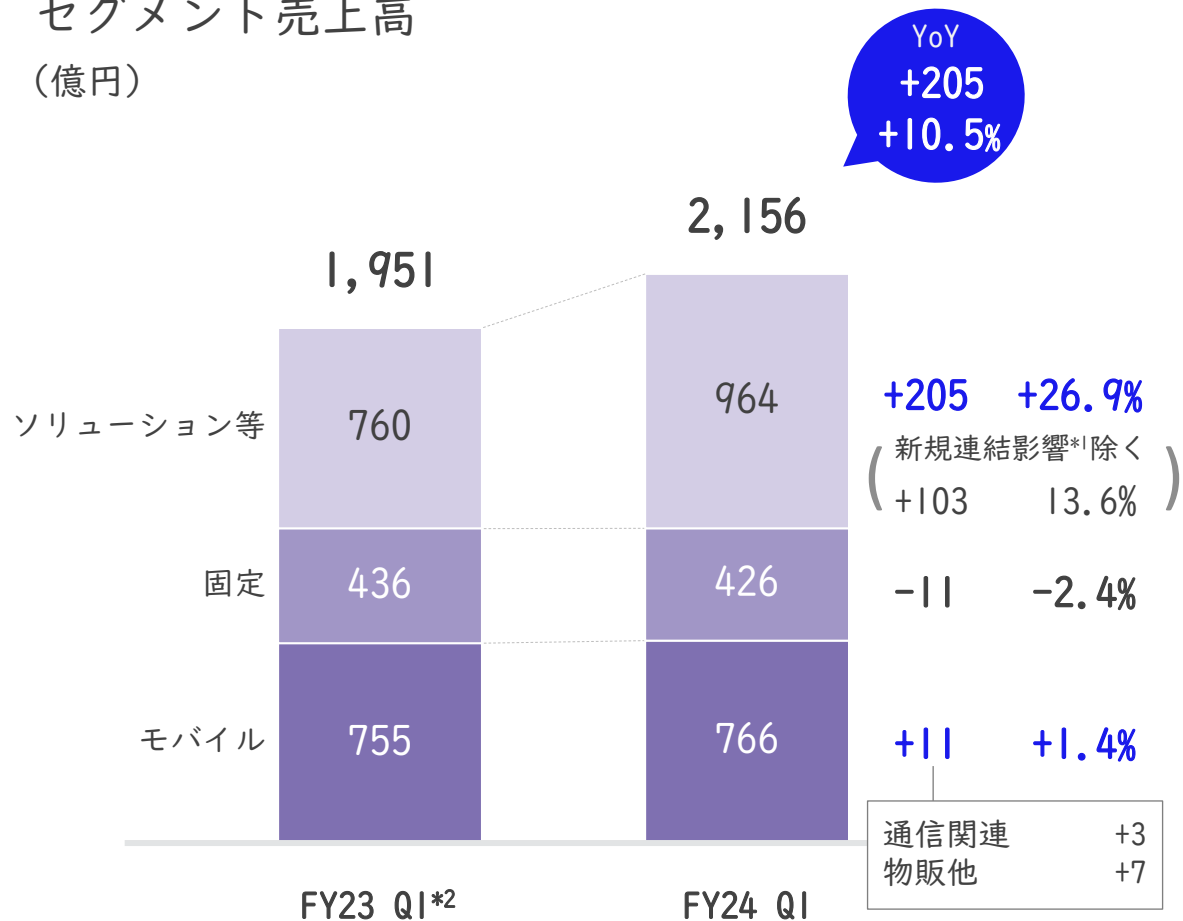
(億円)



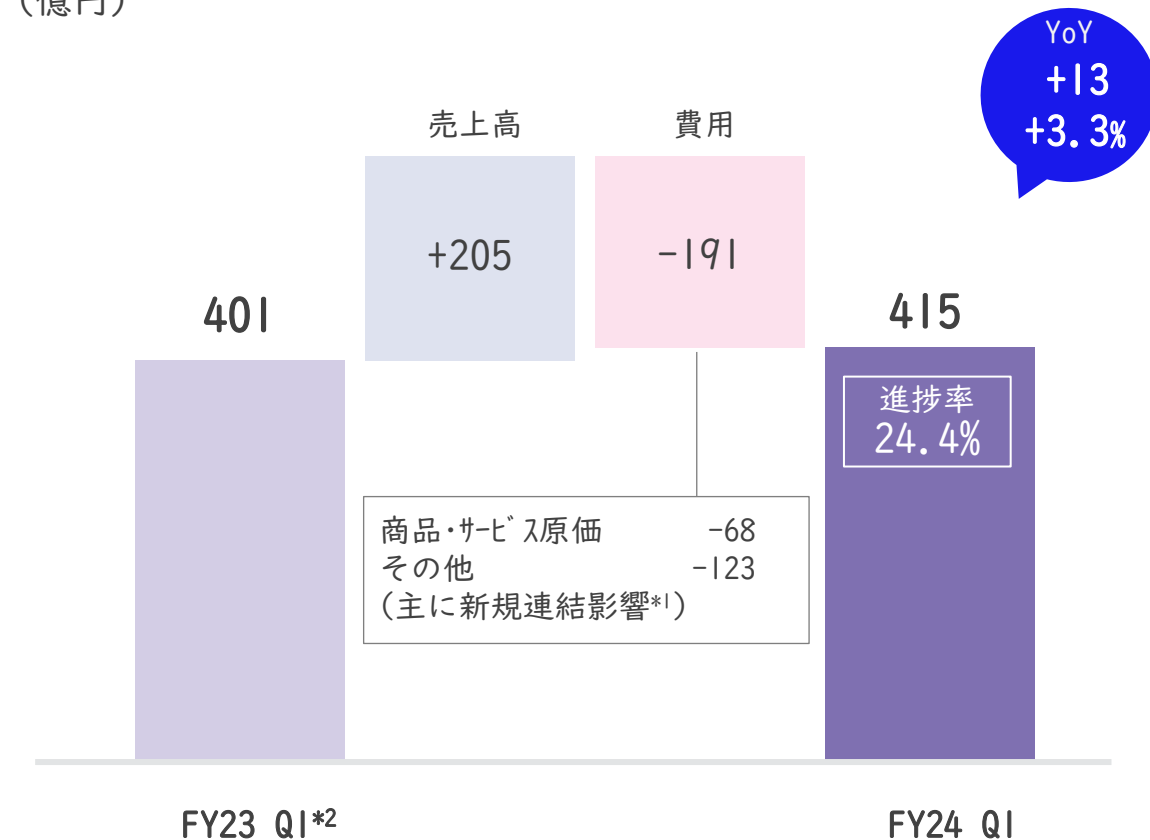
- 通期予想5,300億円に対する進捗率は29.5%
- 物販等売上-商品原価 +46億円
販売促進施策の見直しが貢献し増益
- でんき
売上は減少も23年6月の料金改定や、調達原価の改善により増益
- 販売関連費
広告宣伝・販促は、顧客獲得活動の活発化により増加
- 減価償却費は減少
- その他
3Gサービス終了に伴う撤去費用など

ソリューション等売上が2桁増収、セグメント利益の進捗率は概ね想定通り

セグメント売上高
(億円)



セグメント利益
(億円)

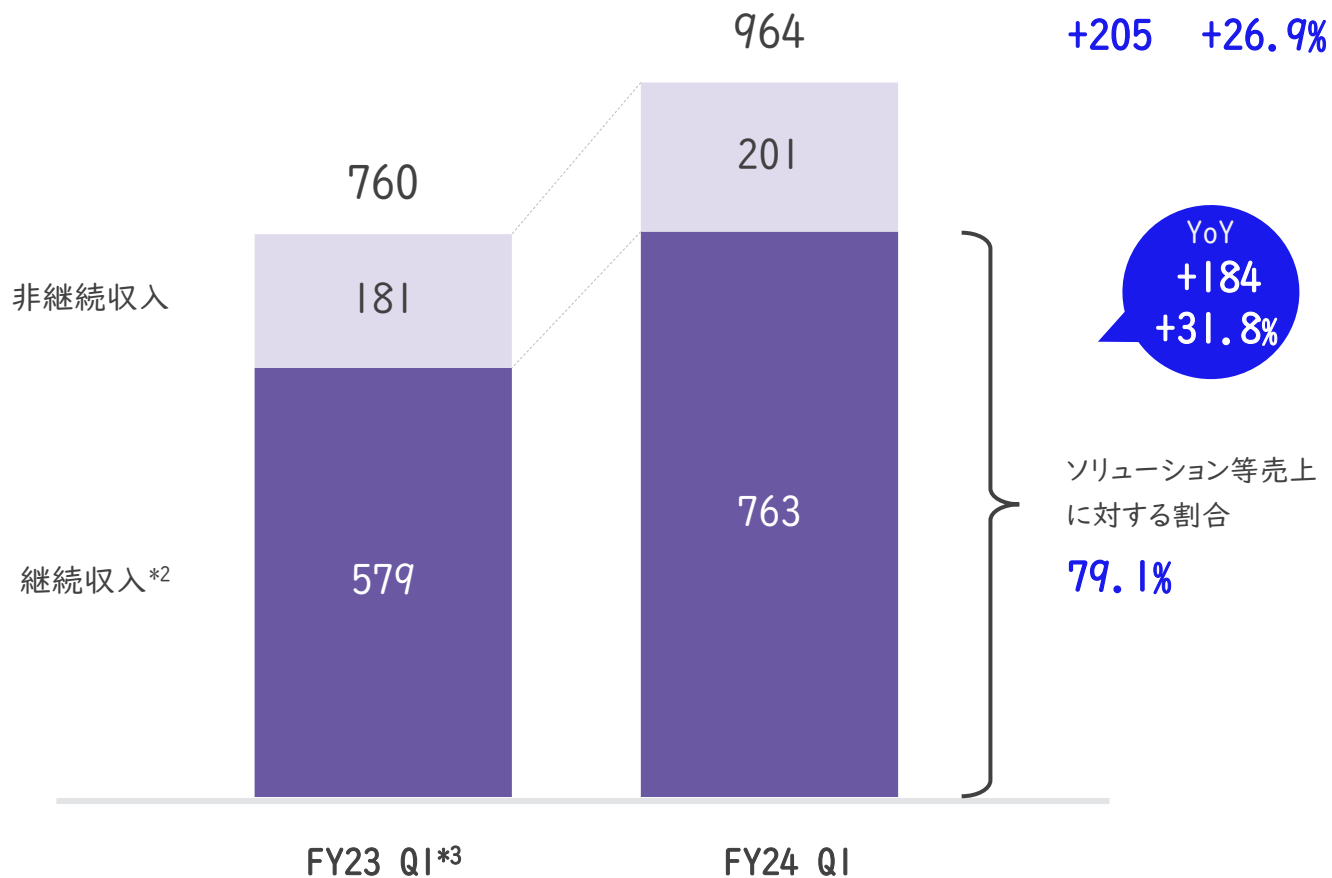


*1: 子会社のWWJ(株)を通じたWeWork Japan合同会社の事業承継およびCubic Telecom Ltd. (Cubic、以下同様)の新規連結影響

*2: FY23 Q1数値は遡及修正後。遡及修正の内容はP4参照

継続収入は新規連結子会社*1の貢献もあり大きく成長

(億円)



- ソリューション等売上の7割以上を占める継続収入は前期比+31.8%
- WWJおよびCubicは継続収入に分類 (影響額102億円)
- クラウドとIoTなどが引き続き好調
- 以下取引につき、FY23を遡及修正

- ①SBテクノロジーなどを「その他」から移管
- ②IoT商材等を「モバイル/固定」から移管

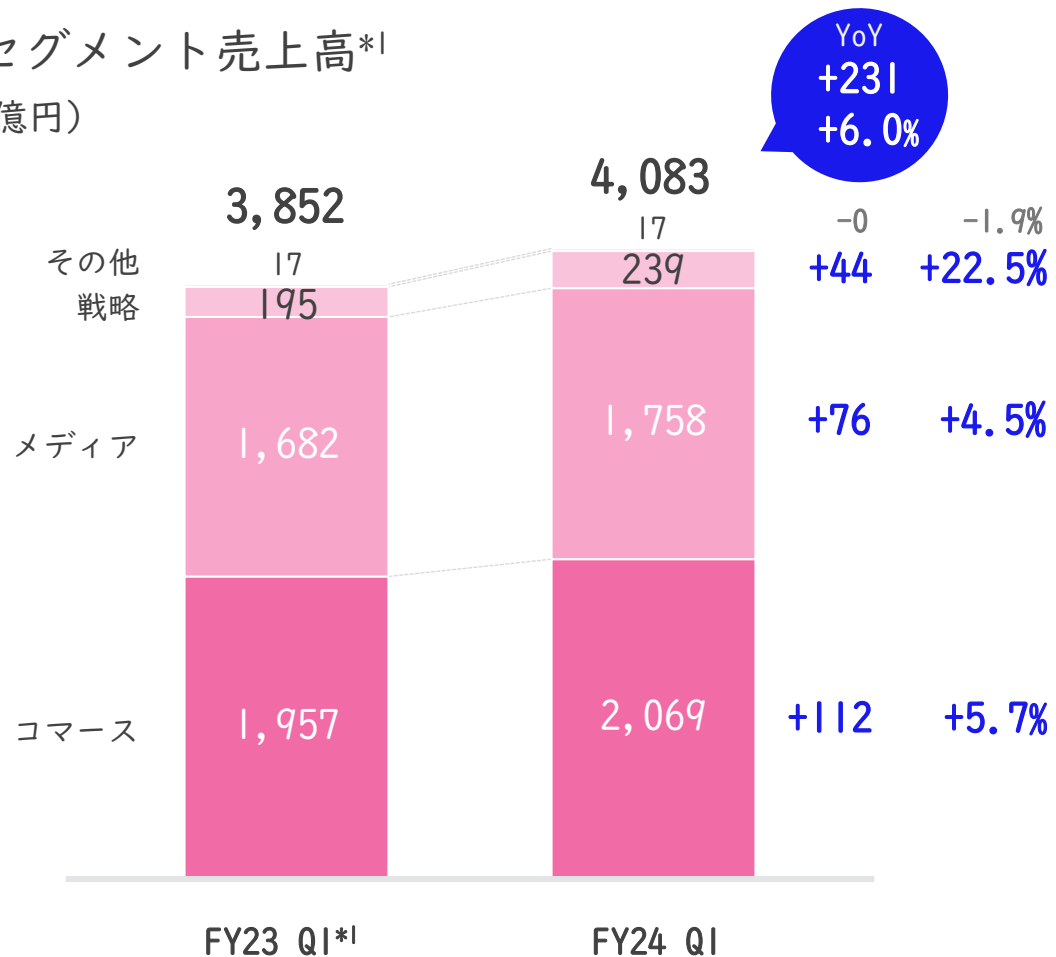
継続収入の遡及影響額 (億円)

	FY23Q1	Q2	Q3	Q4	合計
遡及前	484	501	543	591	2,120
遡及後	579	598	659	697	2,534

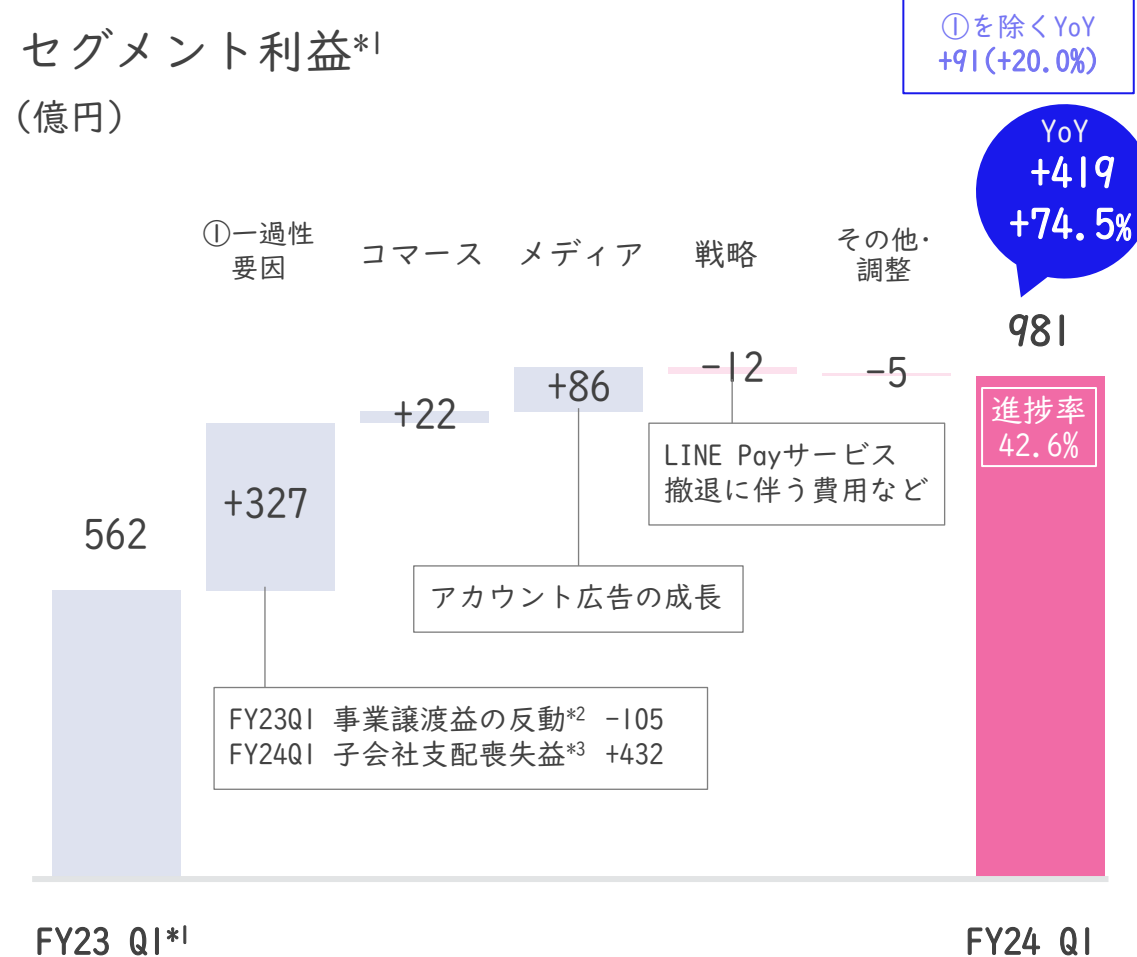
*1: 子会社のWWJ(株)を通じたWeWork Japan合同会社の事業承継およびCubicの新規連結影響 *2: クラウド・セキュリティ・IoTなどのうち継続的な収入、データセンター・デジタルマーケティングなどの収入 *3: FY23 Q1数値は遡及修正後。遡及修正の内容はP4参照

事業は順調に成長。アカウント広告の成長、一過性要因もあり大幅増益

セグメント売上高*1
(億円)



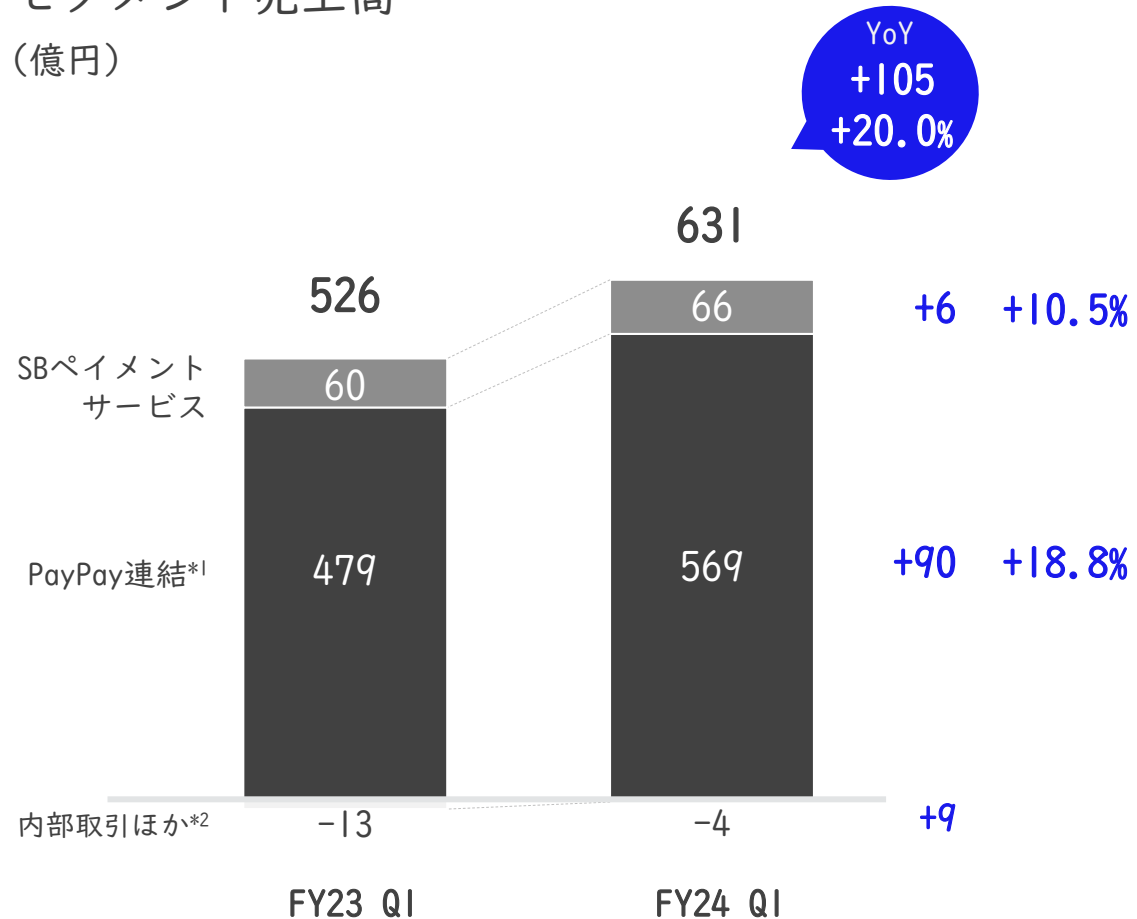
セグメント利益*1
(億円)



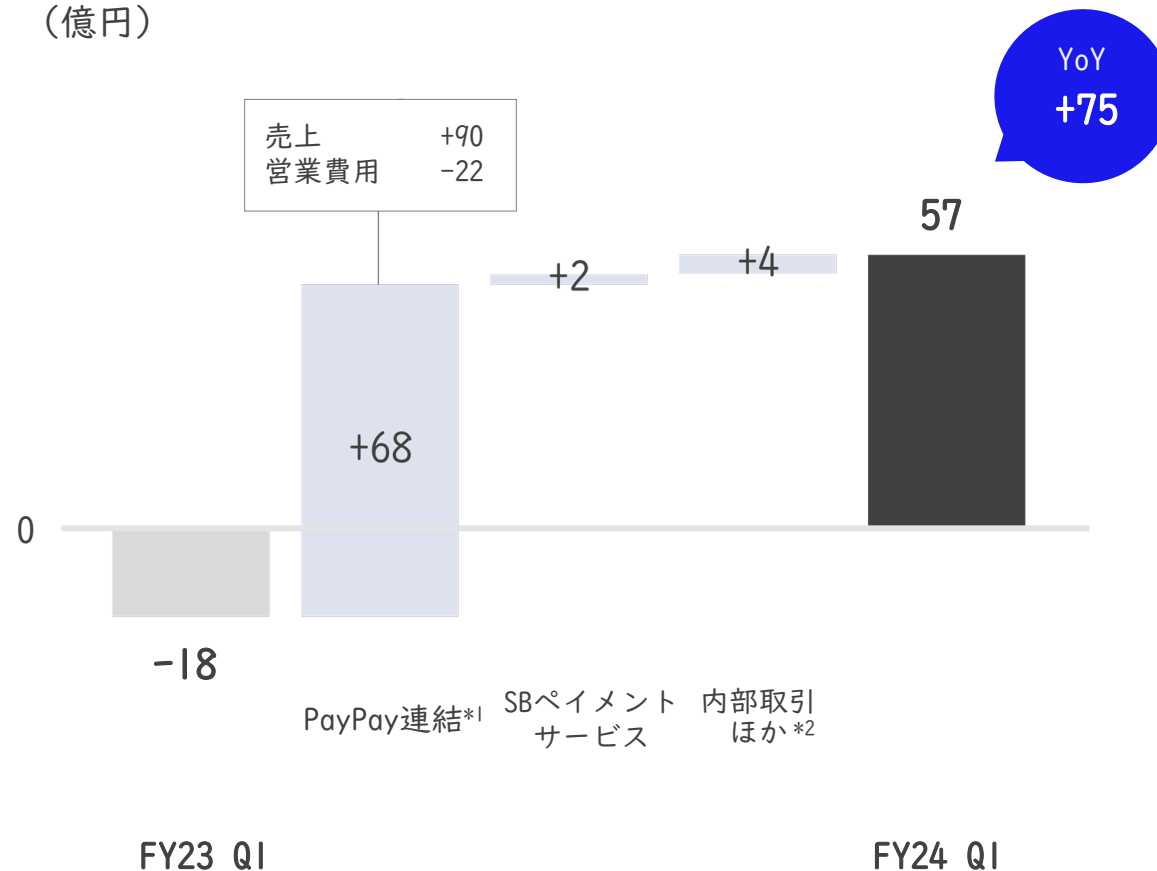
*1: FY23 Q3において、LINEヤフー(株)(旧Zホールディングス(株))(以下「LY」)グループでは、事業の管理区分を見直し、一部のサービスなどについて区分を移管。これに伴い、メディア・EC事業のFY23 Q1の売上高の内訳すべてを修正再表示。セグメント利益の増減は遡及後のFY23 Q1を基に算定 *2: LINE(株)が営むAIカンパニー事業をLINE WORKS(株)(旧ワークスモバイルジャパン(株))に承継したことに係る事業譲渡益 *3: 子会社の支配喪失に伴う利益 (IPX Corporation +228、LINE NEXT Corporation +135、バリューコマース(株) +70)

売上が順調に拡大し黒字転換。PayPay連結が黒字化、大きく貢献 (P29参照)

セグメント売上高
(億円)



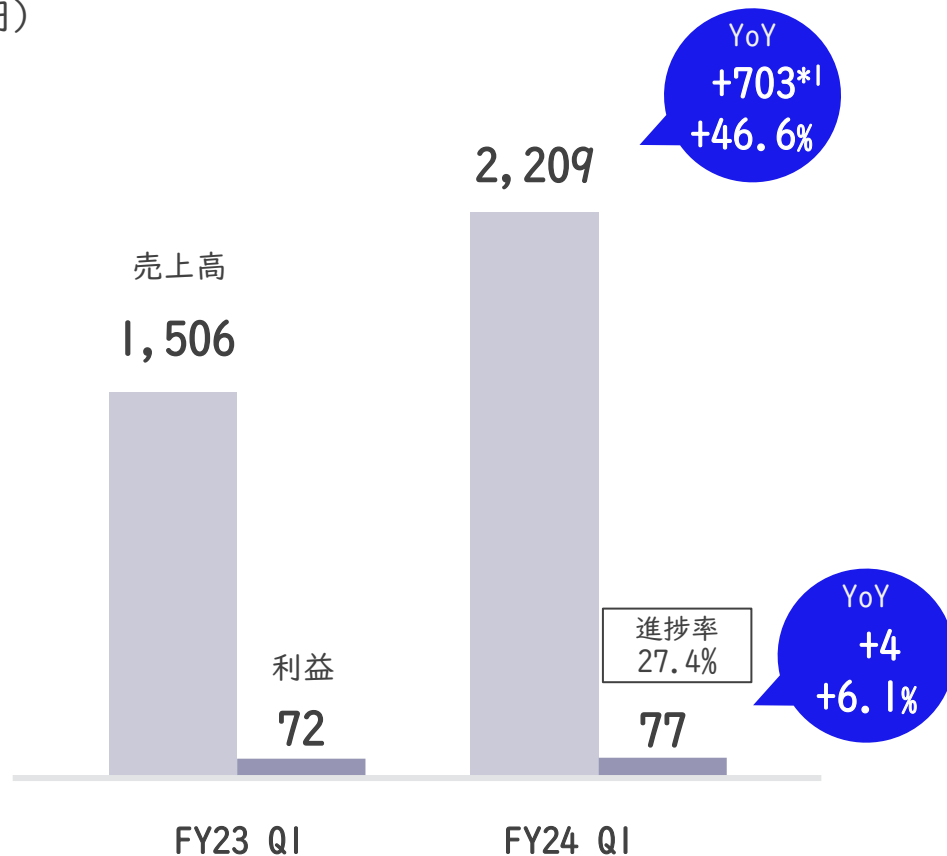
セグメント利益 通期予想 30億円
(億円)



*1: PayPay連結ベース(PayPay(株)、PayPayカード(株)含む、両社間の内部取引控除後)。当社にて関連するIFRS調整を行い独自に算出。非監査
*2: 「内部取引ほか」に、PayPay証券(株)単体、PayPay(株)とPayPayカード(株)間の内部取引以外のファイナンス事業内の会社間の内部取引を含む

ディストリビューションは法人向けICT領域の好調により増収増益

ディストリビューション事業 売上高・利益
(億円)



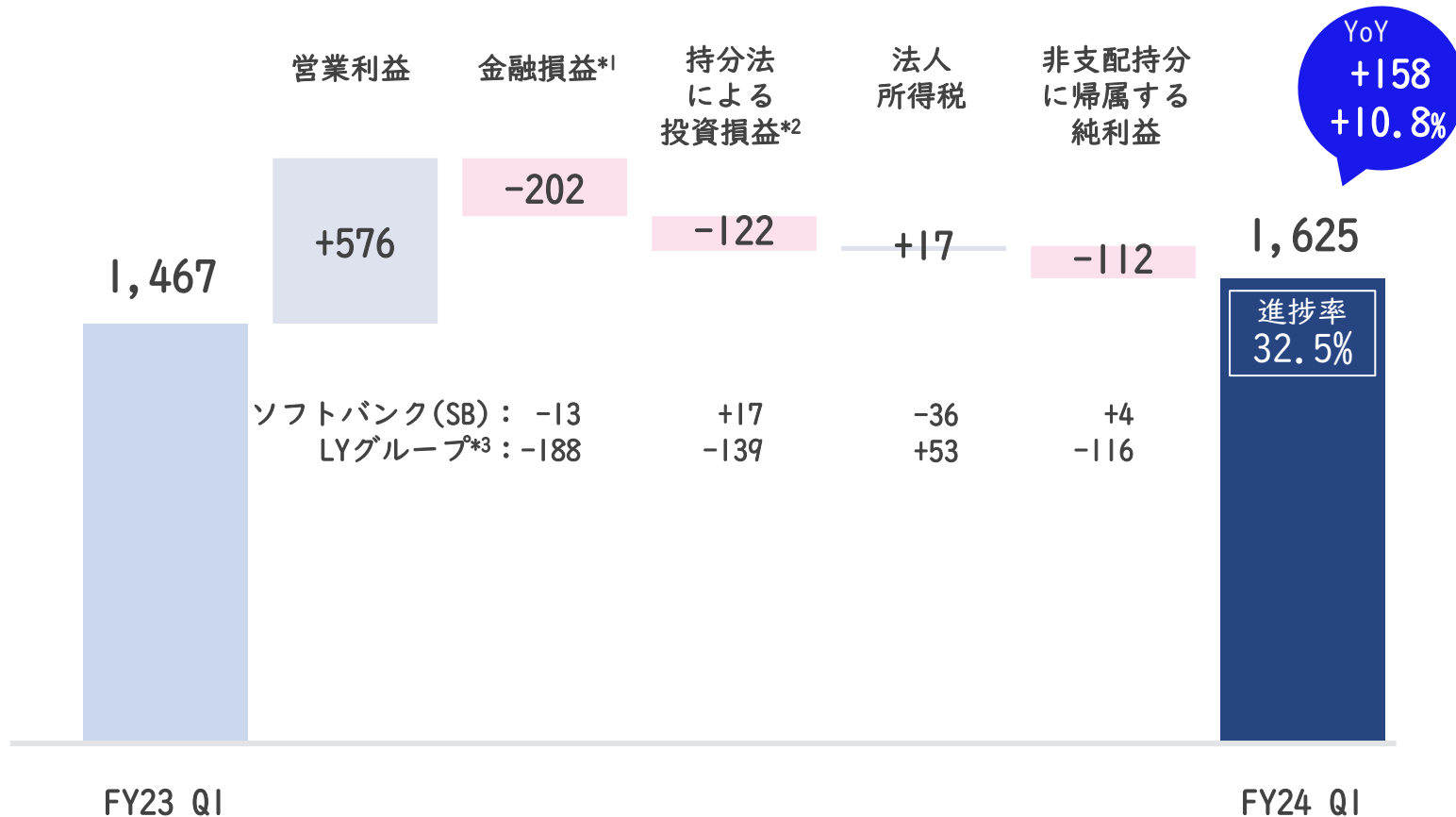
その他 利益
(億円)

	FY23 Q1*2	FY24 Q1	増減
子会社	6	3	-3
研究開発/先行投資	-43	-54	-11
その他 (調整含む)	2	-2	-5
合計	-35	-53	-18

*1: SB C&S(株)が、NVIDIAから仕入れたAI計算基盤をソフトバンク(株)へ売却したことによる売上高の増加分212億円を含む *2: FY23 Q1数値は遡及修正後。遡及修正の内容はP4参照

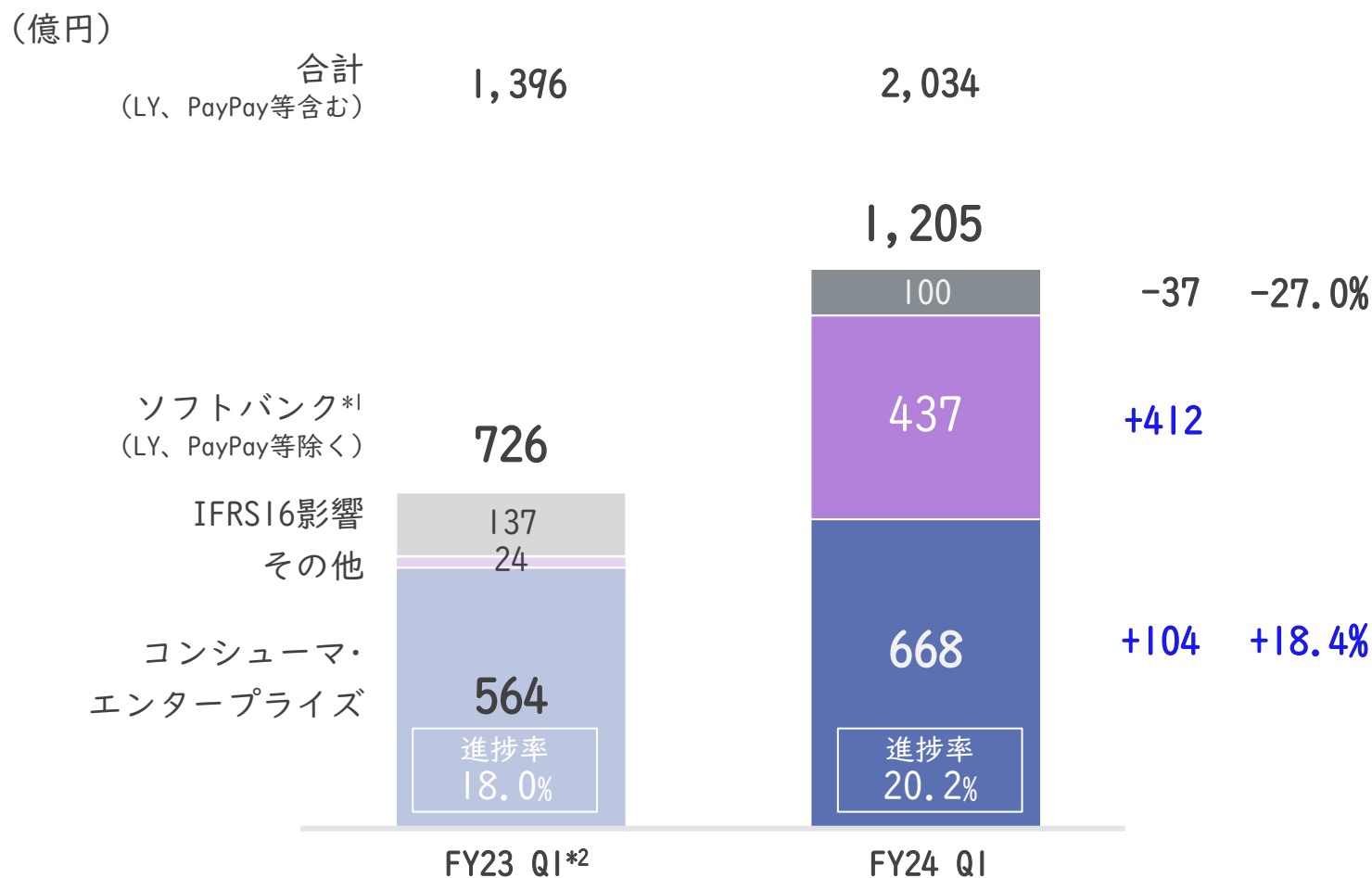
営業利益の増加などにより増益、通期予想に対して順調に推移

(億円)



- 通期予想5,000億円に対する進捗率32.5%
- 金融損益*1
LY：持分法会社のプットオプション評価損など
- 持分法による投資損益*2
LY：前年のWebtoonに係る持分変動利益の反動
- 法人所得税
LY：前年のWebtoon影響の反動などにより改善
- 非支配持分に帰属する純利益
LY連結の純利益増加により拡大

コンシューマ・エンタープライズは期首計画に沿って進捗



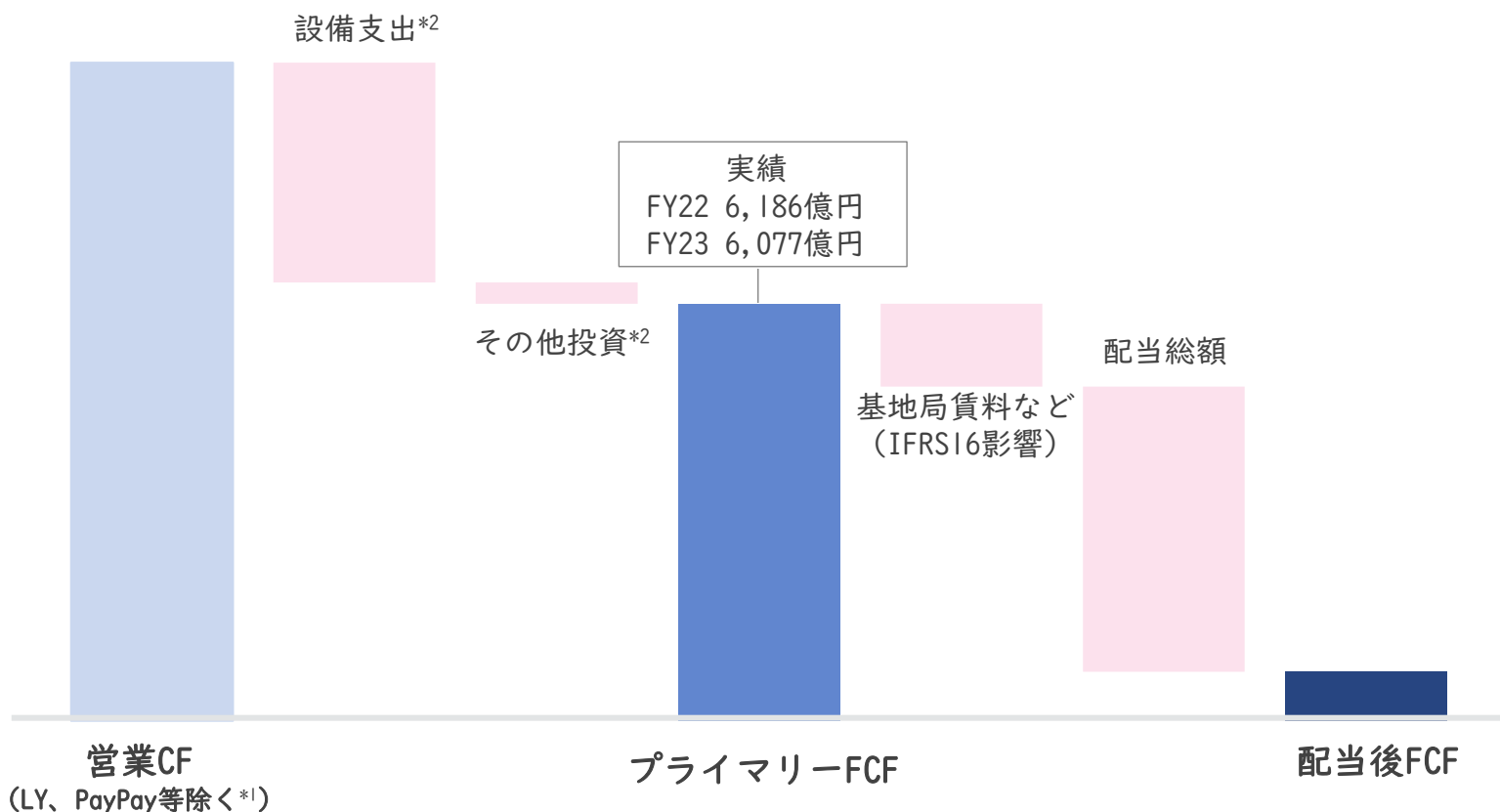
- コンシューマ・エンタープライズの設備投資(IFRS16影響除く)は通期計画3,300億円に対して進捗率20.2%
- その他の設備投資は、AI計算基盤への成長投資により増加

* 「LY、PayPay等」はAホールディングス(株)、LINEヤフー(株)および子会社(LINEヤフーグループ)、Bホールディングス(株)、PayPay(株)、PayPayカード(株)、PayPay証券(株)などを指す(以下同様)
 *1: 検収ベース。「LY、PayPay等」の設備投資、レンタル端末、他事業者との共用設備(他事業者負担額)を除く
 *2: FY23 Q2より定義を変更し、「LY、PayPay等」にPayPay証券(株)などを加えたことに伴い、FY23 Q1数値を遡及修正

高水準のプライマリーFCFを創出

中長期的な成長のための戦略投資は別途長期性資金で手当て

＜プライマリーFCFの考え方＞



- ・ **プライマリーFCF**
 - ・ 既存事業(LY、PayPay等除く)における資金創出能力を示す指標。債務返済や配当支払い能力を適切に評価する指標として設定
 - ・ AI計算基盤など中長期的な成長に資する戦略投資前のFCF
- ・ **中長期の戦略投資の資金手当は資本性調達(社債型種類株式など)、政府補助金なども活用**

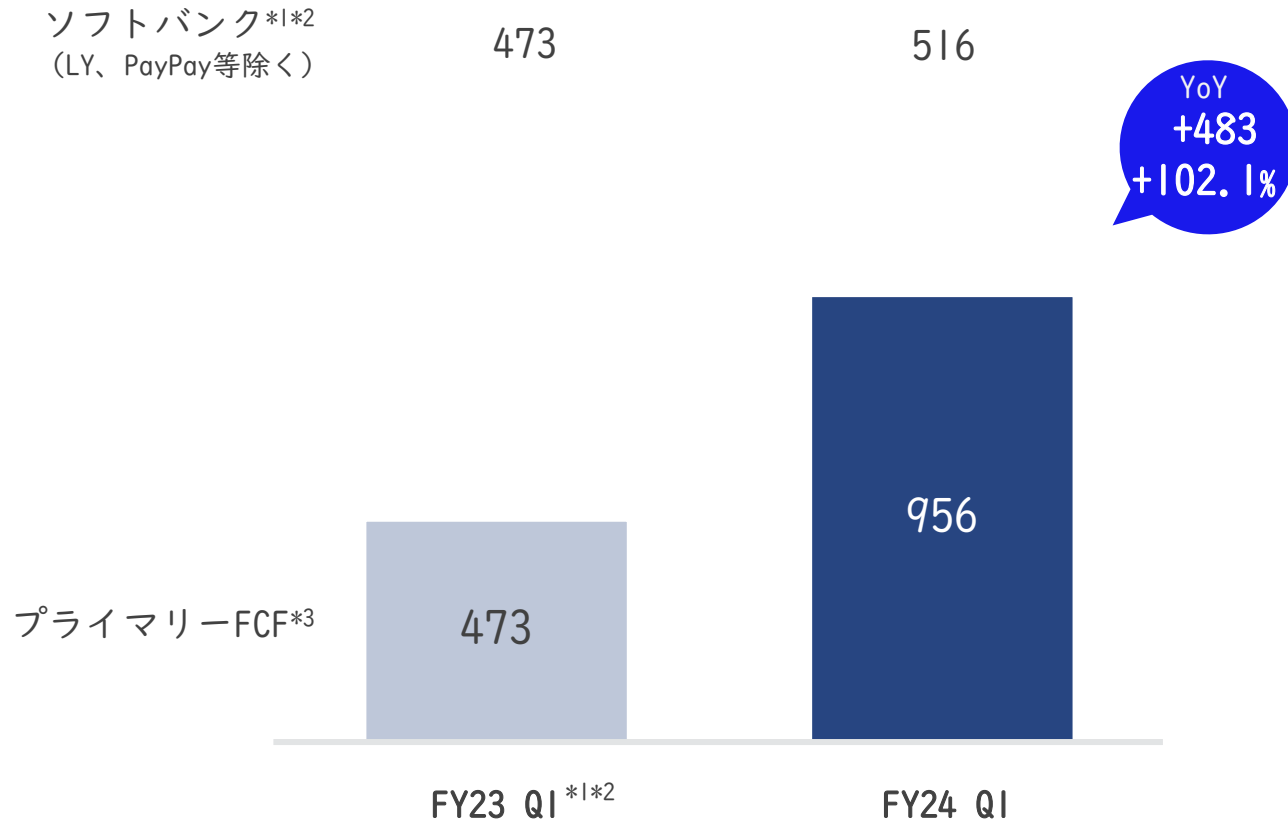
第2回社債型種類株式

- ・ 7/25に発行登録
- ・ 最大2,000億円
- ・ 最短で2024年度上半期中に発行決議

*1: 「LY、PayPay等」のFCF、役員への貸付を除き、AHDからの受取配当、PayPay証券(株)への出資を含む *2: AI計算基盤への投資等回収に長期を要する投資を除く

高水準のプライマリーFCF創出に向けて順調に進捗

(億円)



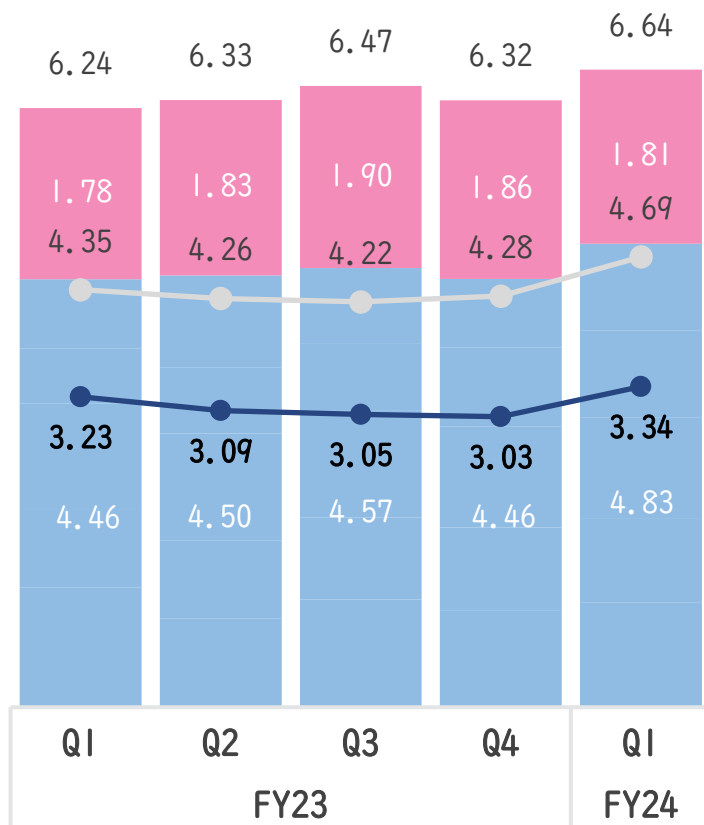
- 営業CF YoY +164億円
ワーキングキャピタルの改善
法人税支出の減少(主に配当源泉税の影響)
- 投資CF YoY +319億円
設備投資資金の支払が減少
- AI計算基盤関連の投資 -439億円
(プライマリーFCFの外数)

*1: 「LY、PayPay等」のFCFを除き、AHDからの受取配当、PayPay証券(株)への出資を含む

*2: FY23 Q2より定義を変更し、「LY、PayPay等」にPayPay証券(株)などを加えたことに伴い、FY23 Q1の数値を遡及修正 *3: プライマリーFCFの考え方はP18参照

WWJ事業承継などにより前年同期比約1,100億円増加 (IFRS16影響:将来賃料を会計上負債認識)
EBITDAの増加によりネットレバレッジ・レシオは前年同期と同水準を維持

有利子負債・純有利子負債
(兆円)



有利子負債

LY

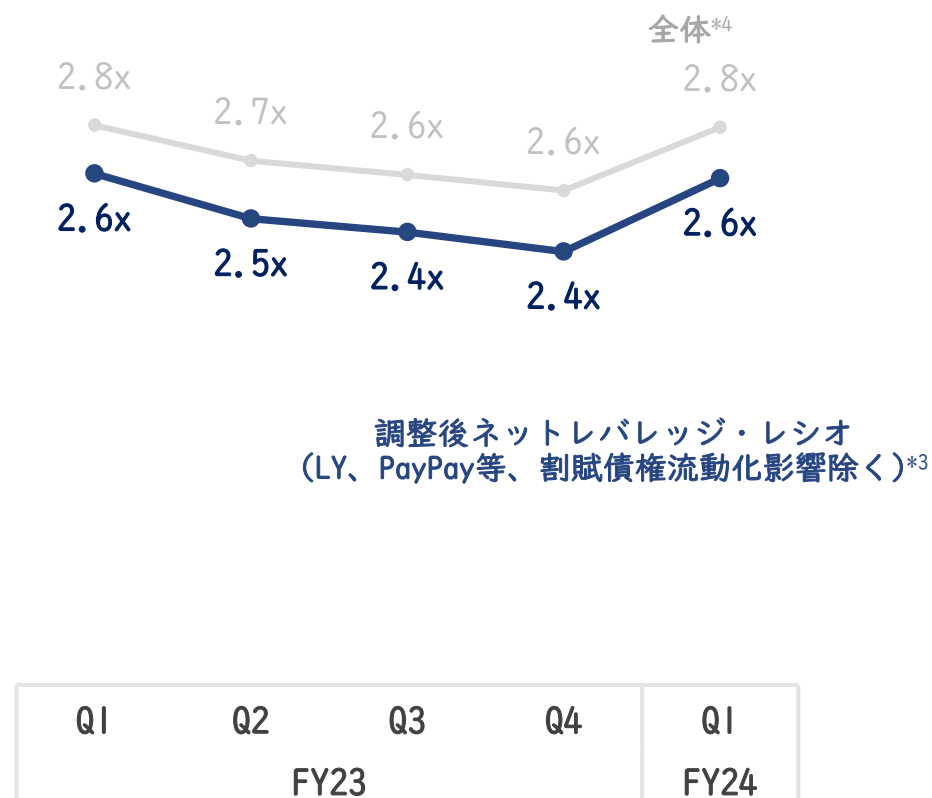
純有利子負債*1

純有利子負債*2 *3
(LY、PayPay等、割賦債権流動化影響除く)

YoY +0.11

銀行ローン	1.09
社債	0.91
リース負債	1.05
債権流動化	0.88
その他	0.30
IFRS16影響	0.61

ネットレバレッジ・レシオ
(倍)



調整後ネットレバレッジ・レシオ
(LY、PayPay等、割賦債権流動化影響除く)*3

* 有利子負債(LY、PayPay等除く)の内訳はデータシートP4参照 *1:純有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び現金同等物 - 債権流動化現金準備金 *2:「LY、PayPay等、割賦債権流動化影響除く」は、AHD、LYグループ、BHD、PayPay(株)、PayPayカード(株)、PayPay証券(株)などに係る純有利子負債と調整後EBITDA、割賦債権流動化に係る有利子負債および債権流動化現金準備金を除く *3: FY23 Q2より定義を変更し、「LY、PayPay等」にPayPay証券(株)などを加えたことに伴い、FY23 Q1数値を遡及修正 *4: ネットレバレッジ・レシオ = 純有利子負債 ÷ 調整後EBITDA(該当四半期の直近12ヶ月)

配当支払いなどの季節要因があるも、純資産比率は約25%

(億円)	24年3月末	24年6月末	増減
現金及び現金同等物	19,929	19,069	-860
その他資産	135,290	137,840	+2,549
資産合計 (総資産)	155,219	156,909	+1,690
有利子負債	63,209	66,420	+3,211
その他負債	52,654	51,367	-1,286
負債合計	115,863	117,787	+1,925
親会社の所有者に帰属する持分(自己資本)	23,771	23,520	-250
非支配持分	15,586	15,601	+15
資本合計 (純資産)	39,356	39,121	-235
純有利子負債*1	42,830	46,913	+4,083
自己資本比率*2	15.3%	15.0%	-0.3%
純資産比率 総資産に対する資本の割合	25.4%	24.9%	-0.4%

- その他資産 +2,549億円**
 使用権資産、銀行事業の有価証券、有形固定資産などにより増加
- 純有利子負債 +4,083億円**
 LY/PayPay等除く +3,311億円
 内 剰余金配当 +2,037億円
 WWJ事業承継 +1,060億円

*1：純有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び現金同等物 - 債権流動化現金準備金

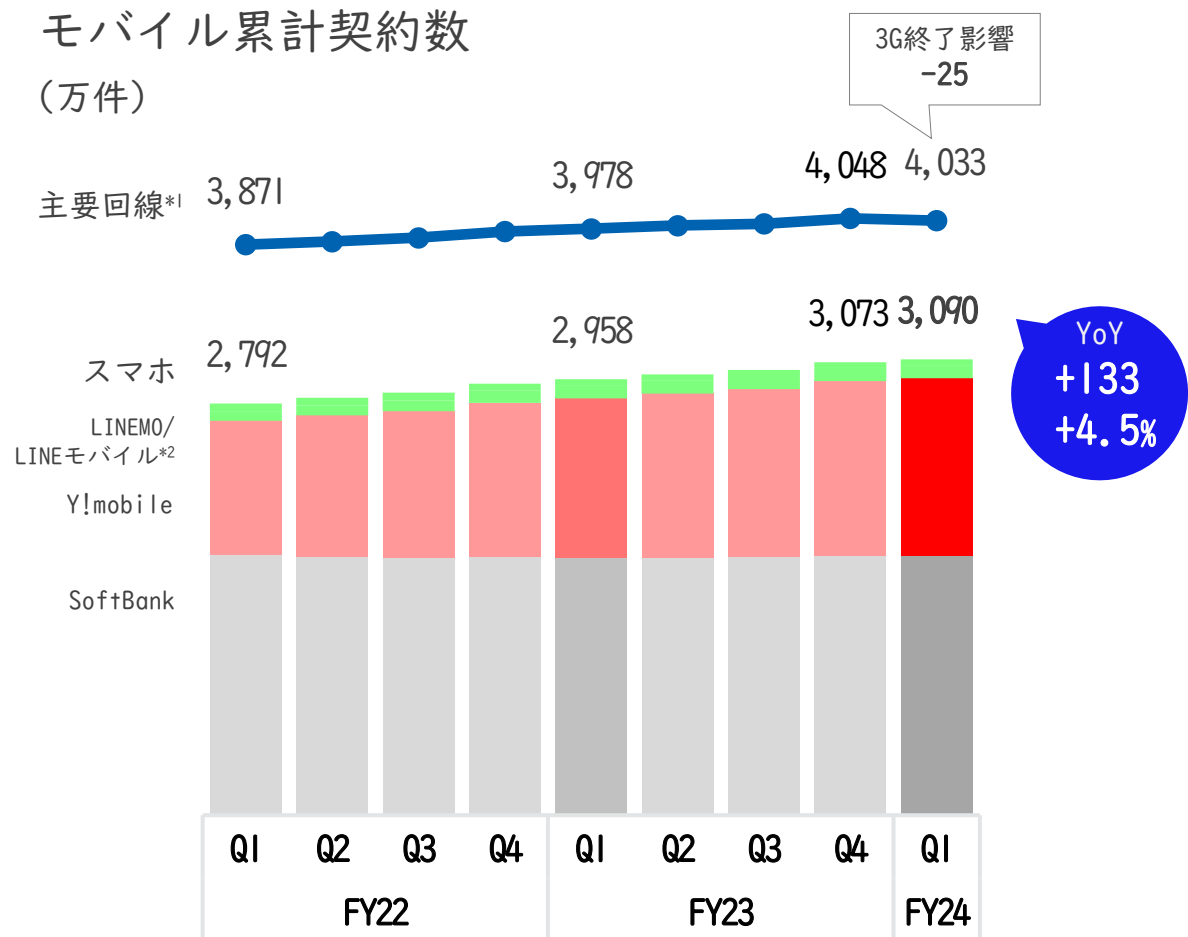
*2：自己資本比率 = 親会社の所有者に帰属する持分 ÷ 総資産

スマホ契約数は順調に増加

市場全体の流動性の高まりを受け、スマホの解約率は前年同期比+0.18%

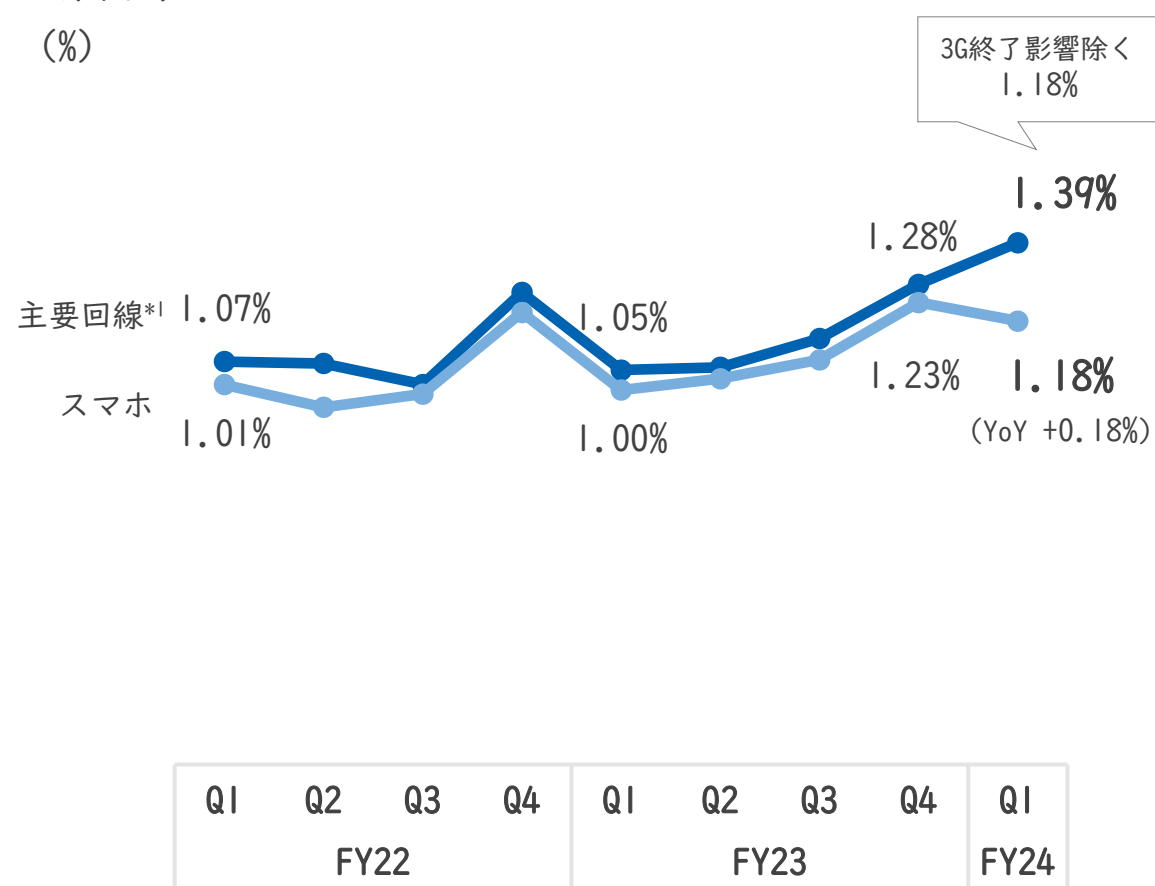
モバイル累計契約数

(万件)



解約率

(%)

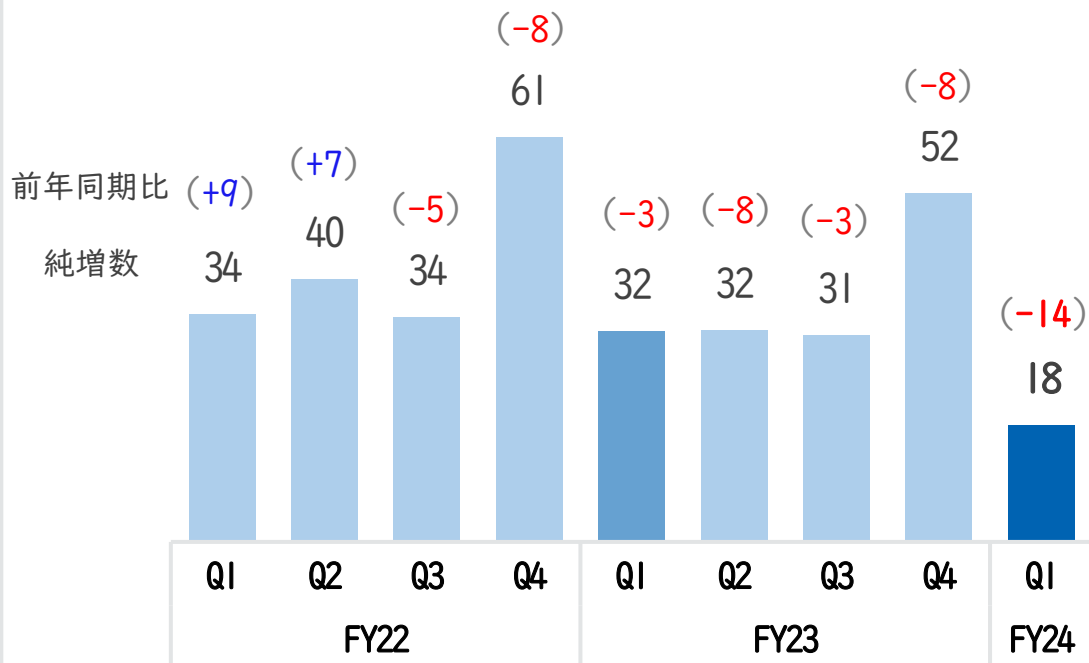


* 法人契約を含む

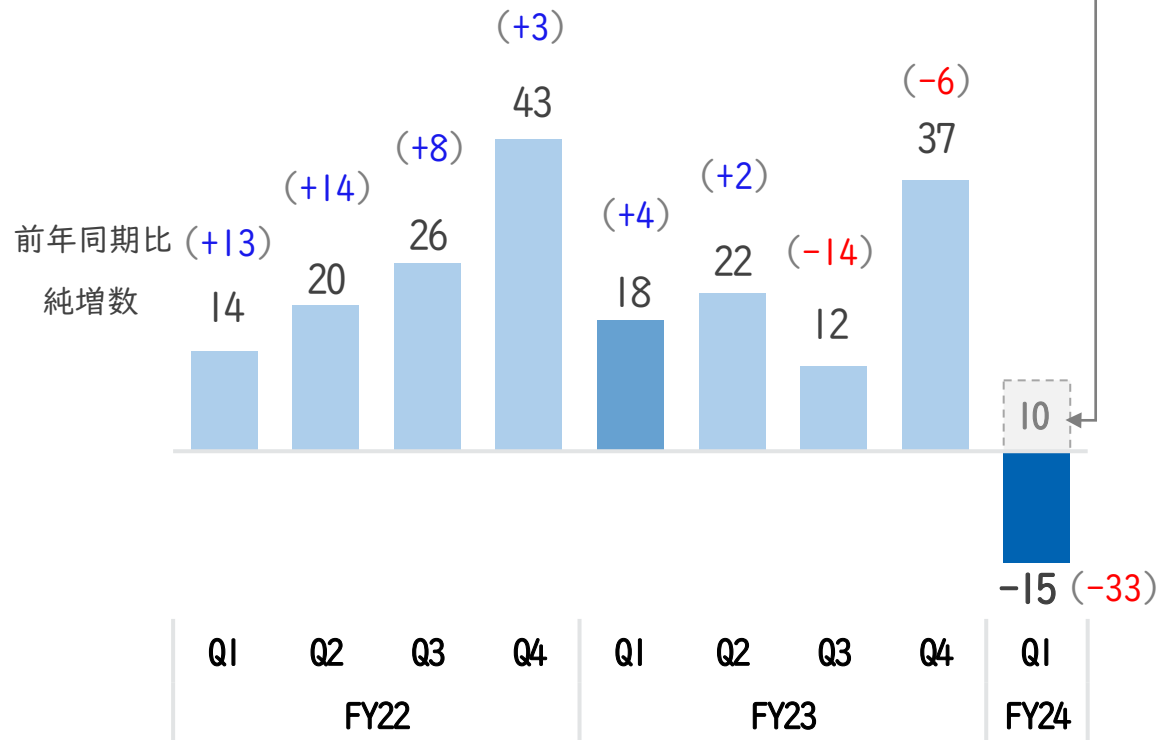
*1: スマートフォン、従来型携帯電話、タブレット、モバイルデータ通信端末、「おうちのでんわ」など *2: 「LINEMO」と「LINEモバイル」の契約数を合算表示

主要回線は、3Gサービス停止影響で純減 スマホは市場の流動性が高まる中、純増を継続

スマホ 純増数*1 対前四半期末
(万件)



主要回線 純増数*1 対前四半期末
(万件)

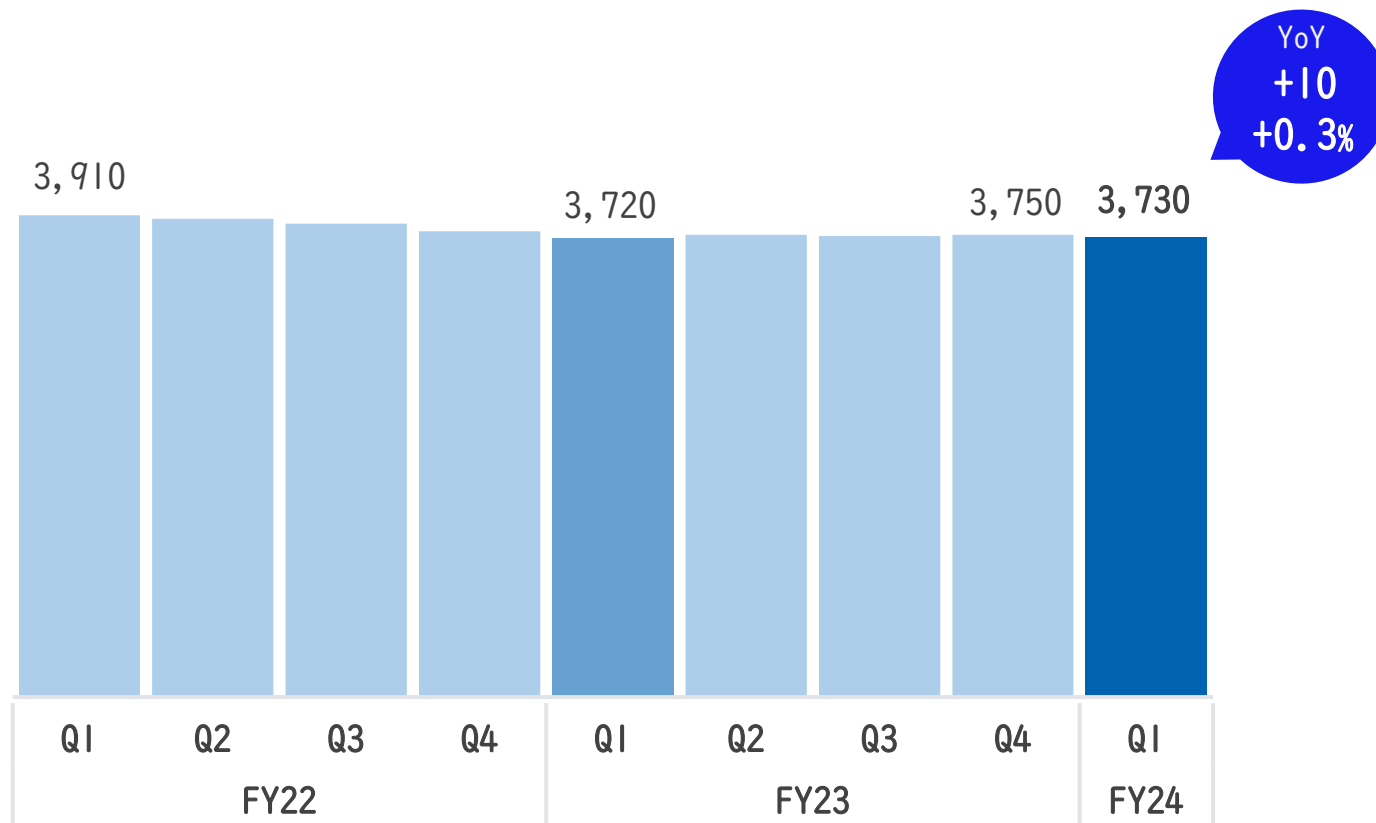


* 法人契約を含む

*1: 純増数 = 該当四半期末の累計契約数 - 前四半期末の累計契約数

ARPUは前年比プラスに転換、横ばいで推移

モバイルARPU*
(円)



- モバイルARPU YoY +10円
- (+) 新プラン導入に伴う単価増
付加価値サービスの拡大
- (-) 「ワイモバイル」構成比増

年度	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
FY23	-190	-140	-100	-40	-120
FY24	+10	—	—	—	0 (見通し)

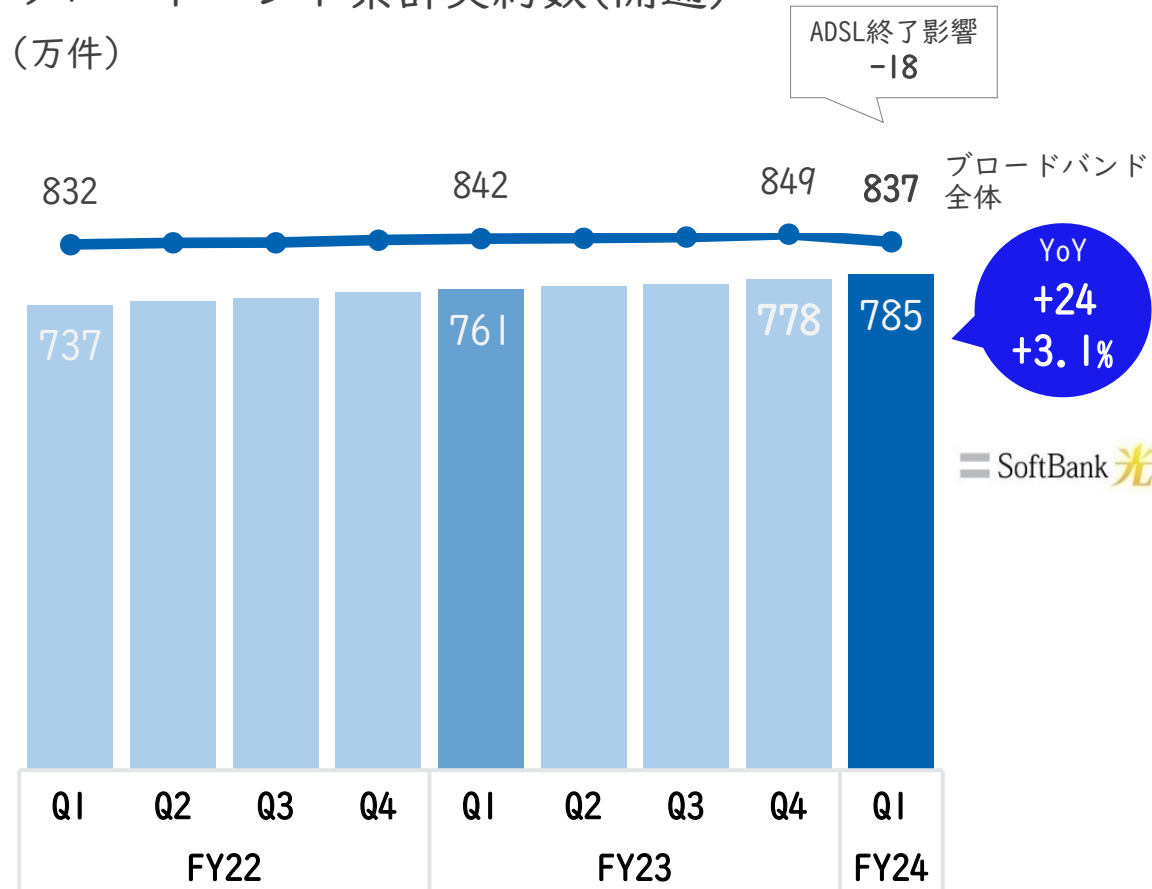
* 法人契約を含む *I：モバイルARPU(Average Revenue Per User) = I契約当たりの月間平均収入(10円未満を四捨五入して開示)。ポイント等や端末購入サポートプログラムに係る通信サービス売上控除額はモバイルARPUに不算入

ブロードバンド：ソフトバンク光の契約数は引き続き拡大

でんき：契約数は対前年同期で減少。順次獲得を再開・本格化

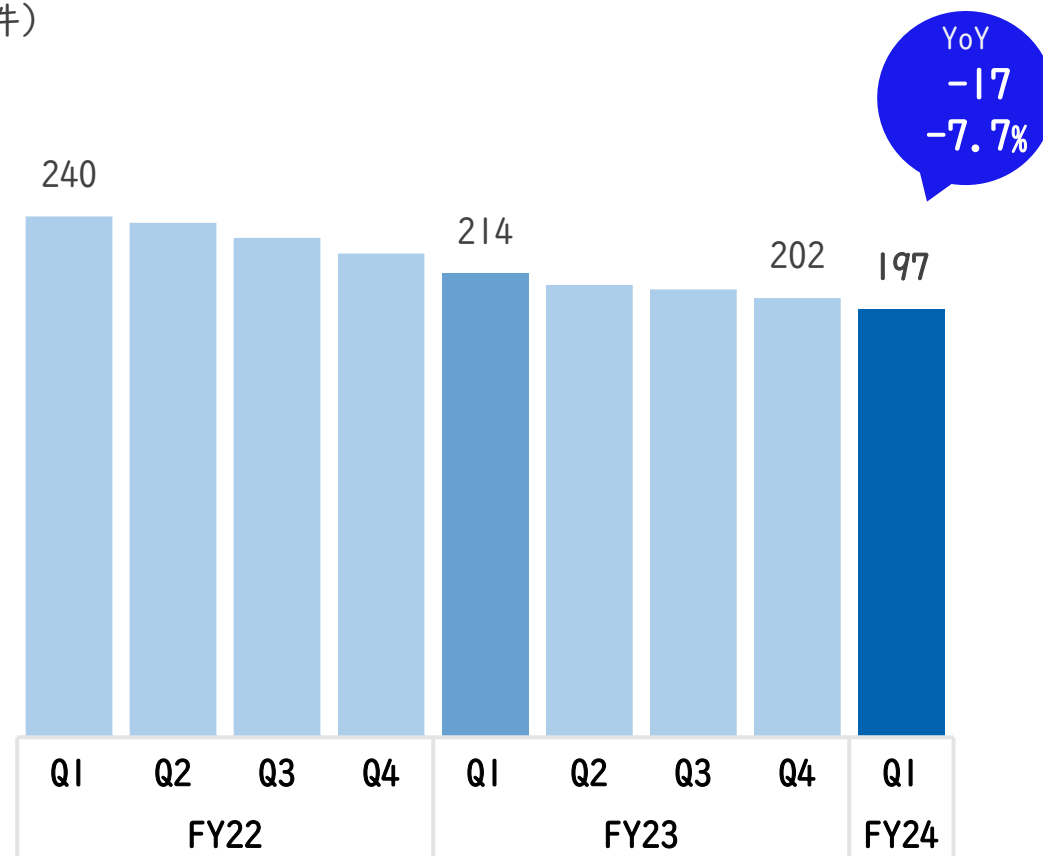
ブロードバンド累計契約数(開通)

(万件)



でんき累計契約数*

(万件)

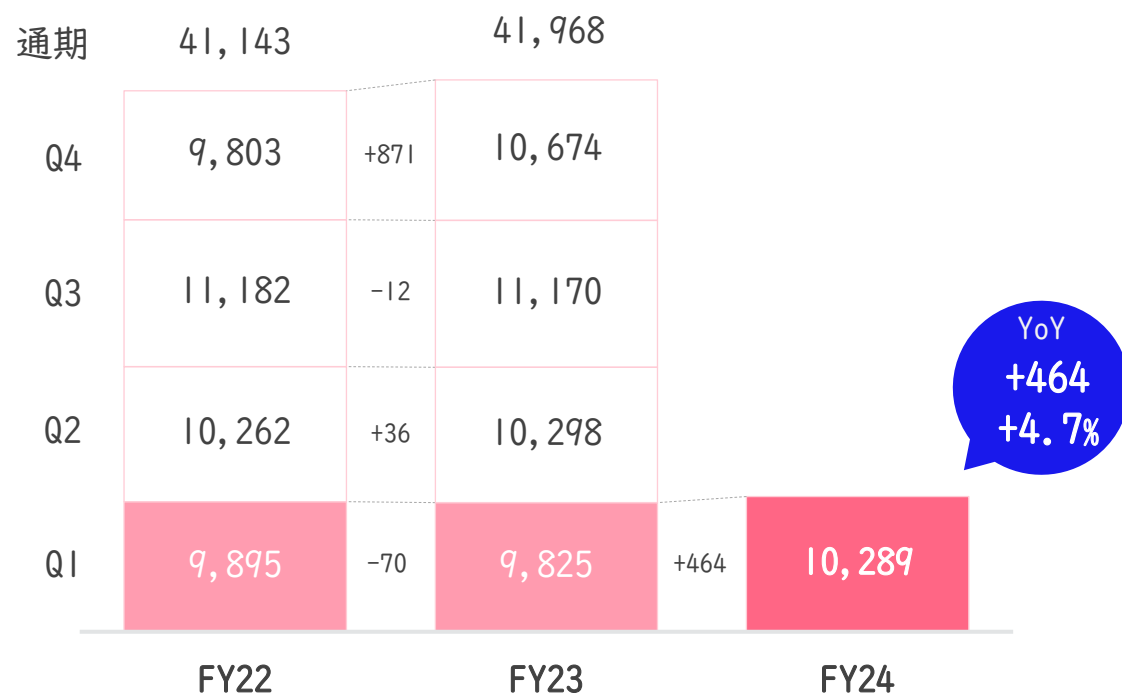


*1：でんきは、「おうちでんき」などの電力の売買・供給および売買の仲介サービス

eコマース取扱高と広告関連売上ともに順調に拡大

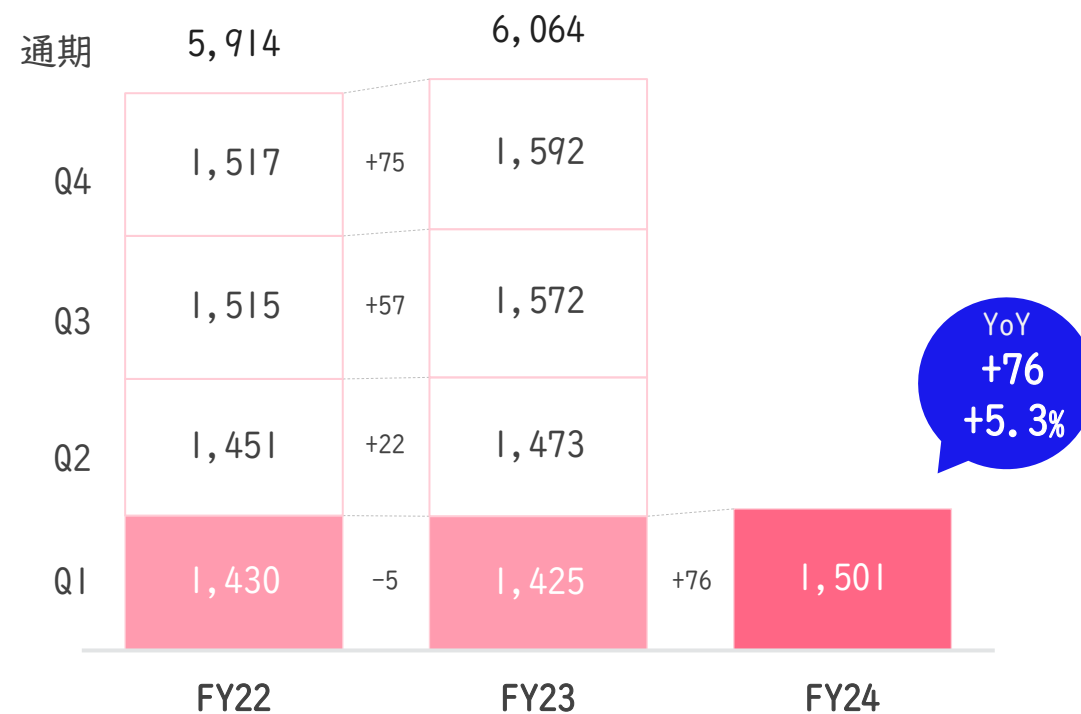
eコマース取扱高*1,2

(億円)



全社広告関連売上収益*2,3

(億円)



*1：国内のショッピング事業取扱高、リユース事業取扱高、その他(物販)取扱高、アスクルBtoB事業取扱高、国内サービス系取扱高、国内デジタル系取扱高および海外eコマース取扱高の合計。集計方法の変更などにより、FY23 Q3-Q4、FY23 通期の数値を遡及修正 *2：値は億円単位で端数を切り捨て *3：LINE広告関連売上収益とヤフー広告関連売上収益の合計

登録ユーザー数は順調に増加、決済回数はユーザー数の伸びを大きく上回る

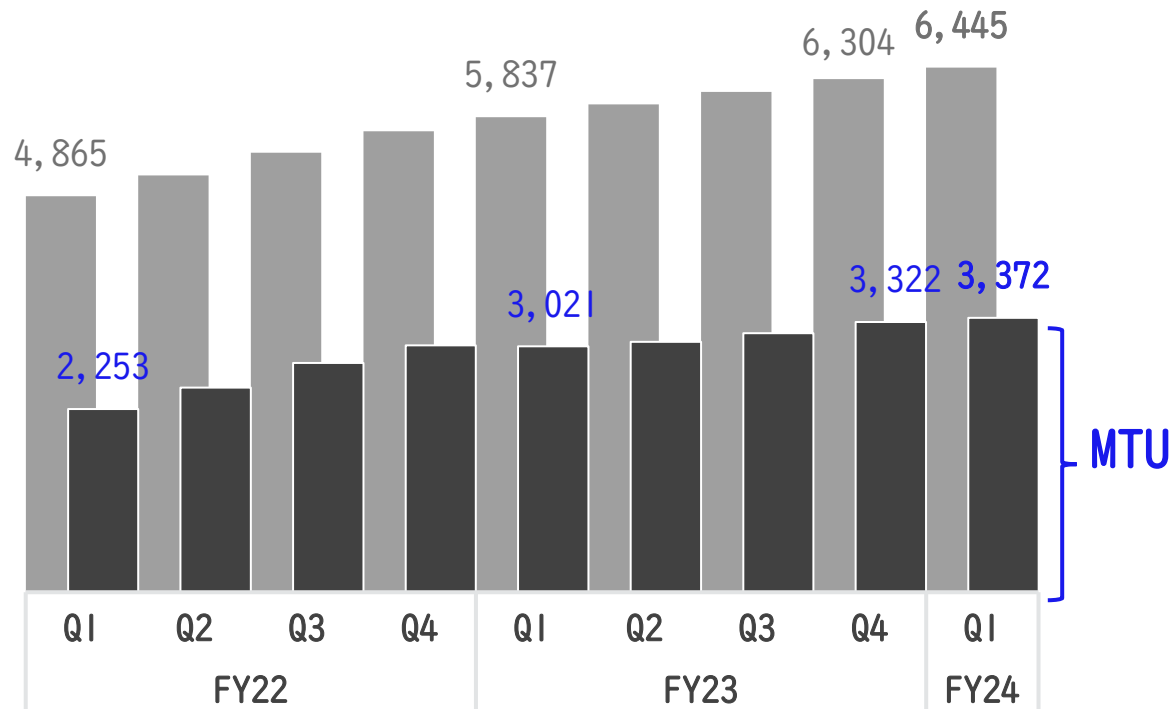
(1人当たり決済回数が増加)

登録ユーザー数*1,3

月間取引ユーザー数(MTU)*2,3
(万人)



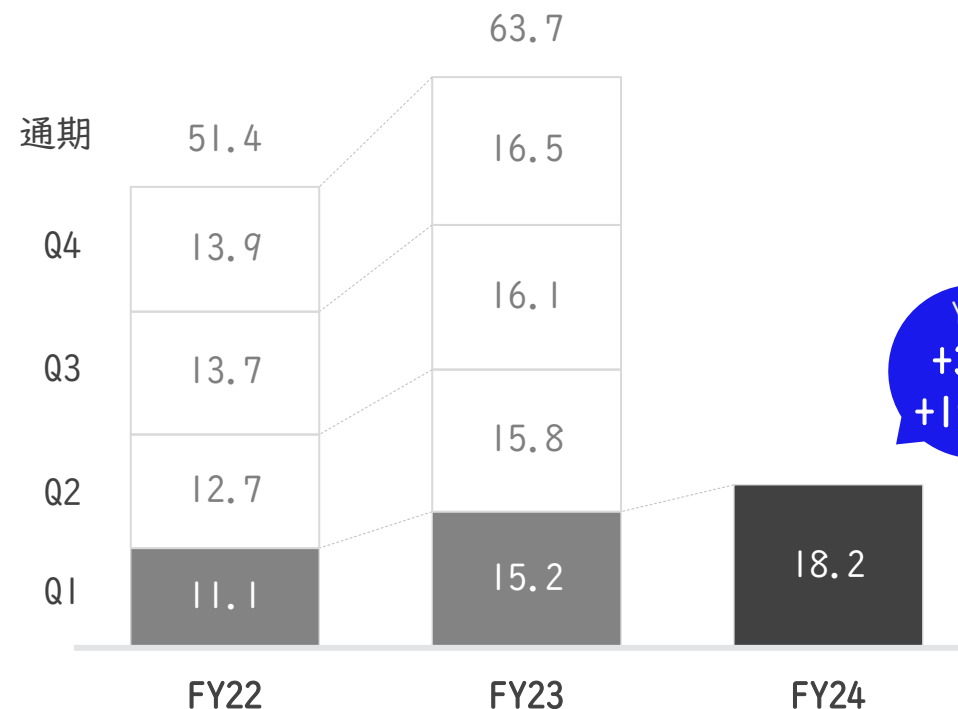
YoY
+608
+10.4%



決済回数*4
(億回)



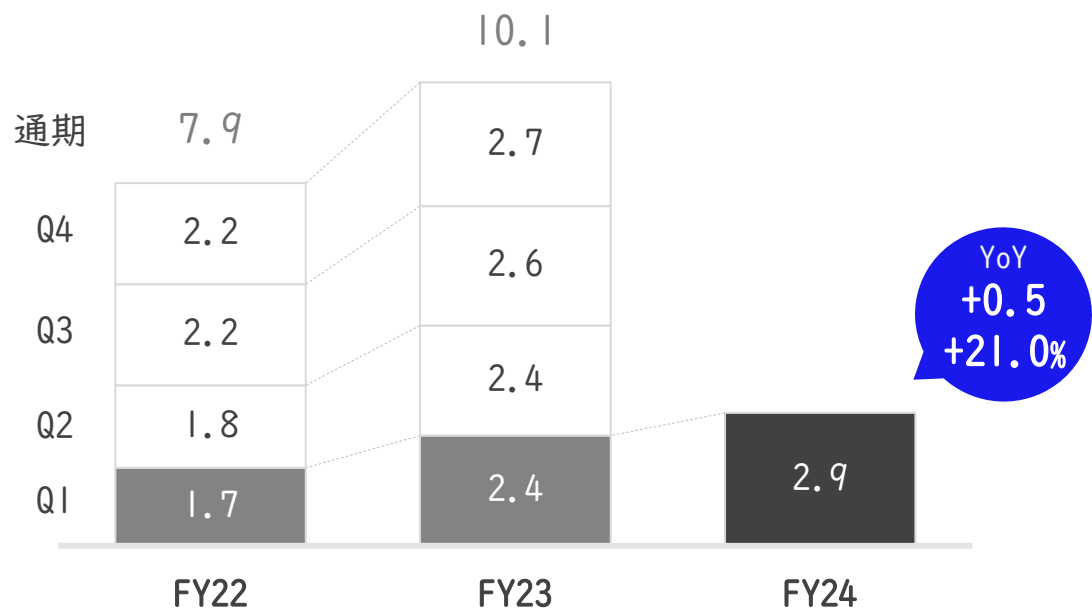
YoY
+3.0
+19.6%



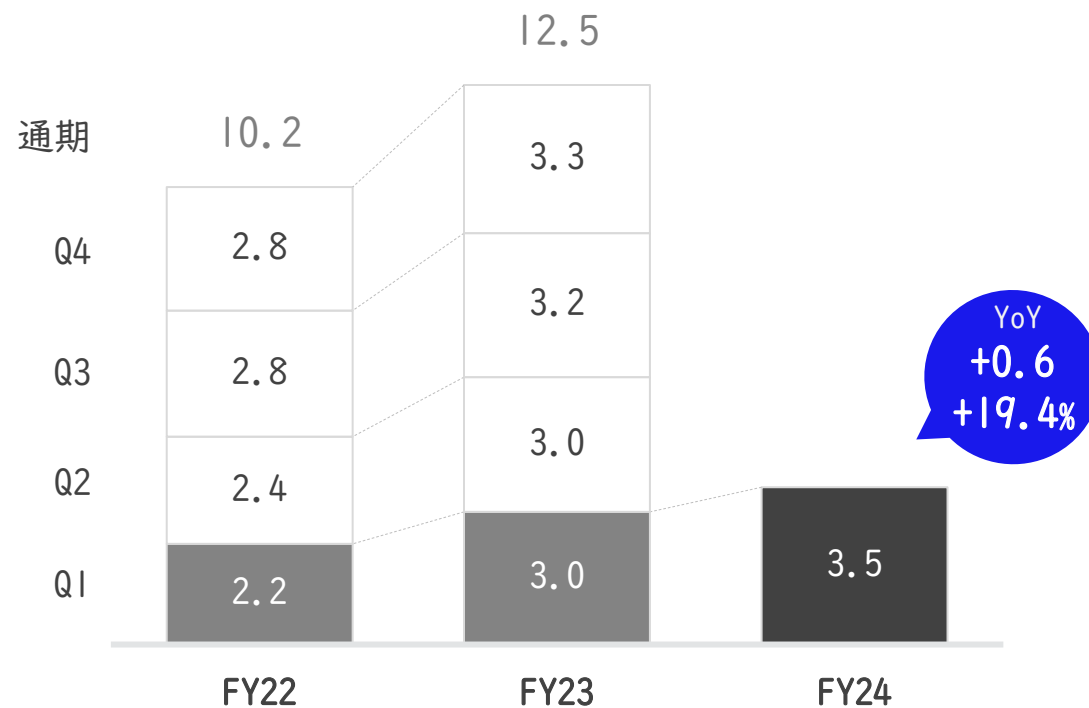
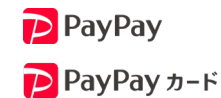
*1: PayPayのアカウント登録済みユーザー数 *2: 月間取引ユーザー数MTU (Monthly Transaction Users)は、1ヶ月に1回以上決済を行ったユニークユーザー数。ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用は含まない。「Alipay」、「LINE Pay」等経由の決済を含む。各四半期末の実績値 *3: 万人未満を切り捨て開示 *4: ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用は含まない。「Alipay」、「LINE Pay」等経由の決済、および「PayPayクレジット(旧あと払い)」による決済を含む

単体のGMVは決済回数を上回る伸び、PayPayカードを含む連結も順調に拡大 (決済単価が増加)

PayPay単体決済取扱高(GMV)*1
(兆円)



PayPay連結決済取扱高(GMV)*1,2
(兆円)

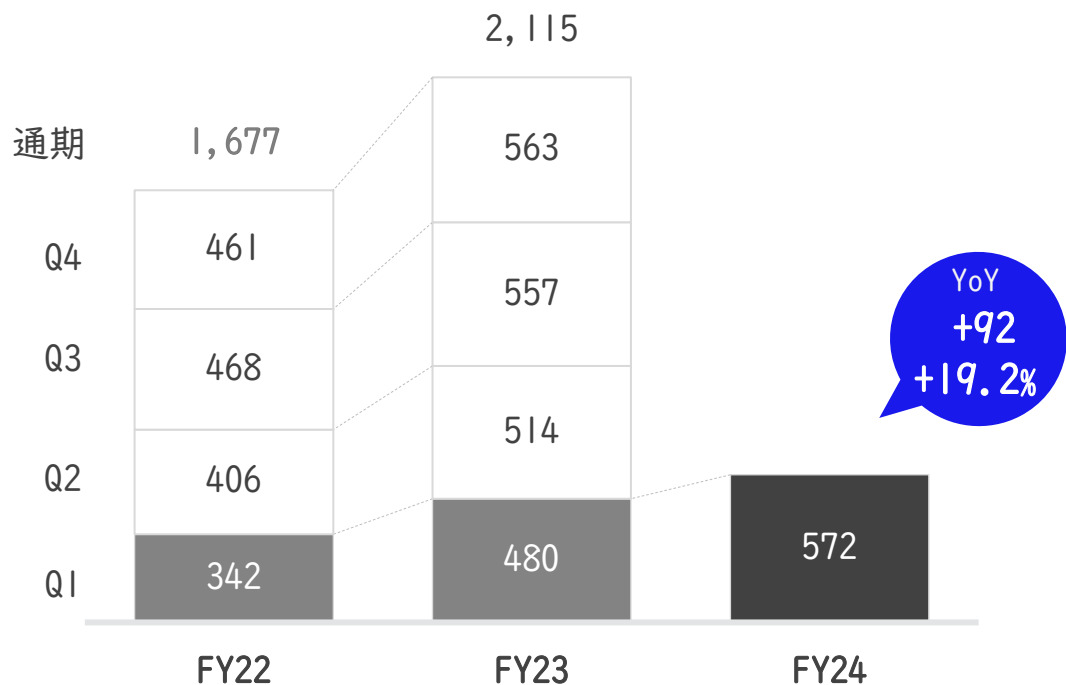


*1：ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用は含まない。「Alipay」、「LINE Pay」等経由の決済、および「PayPayクレジット(旧あと払い)」による決済を含む *2：PayPayカード(株)の決済取扱高をPayPay(株)の決済取扱高と合算し、PayPay(株)とPayPayカード(株)の内部取引を消去

売上高は順調に拡大。EBITDAも大きく改善、営業利益も黒字化

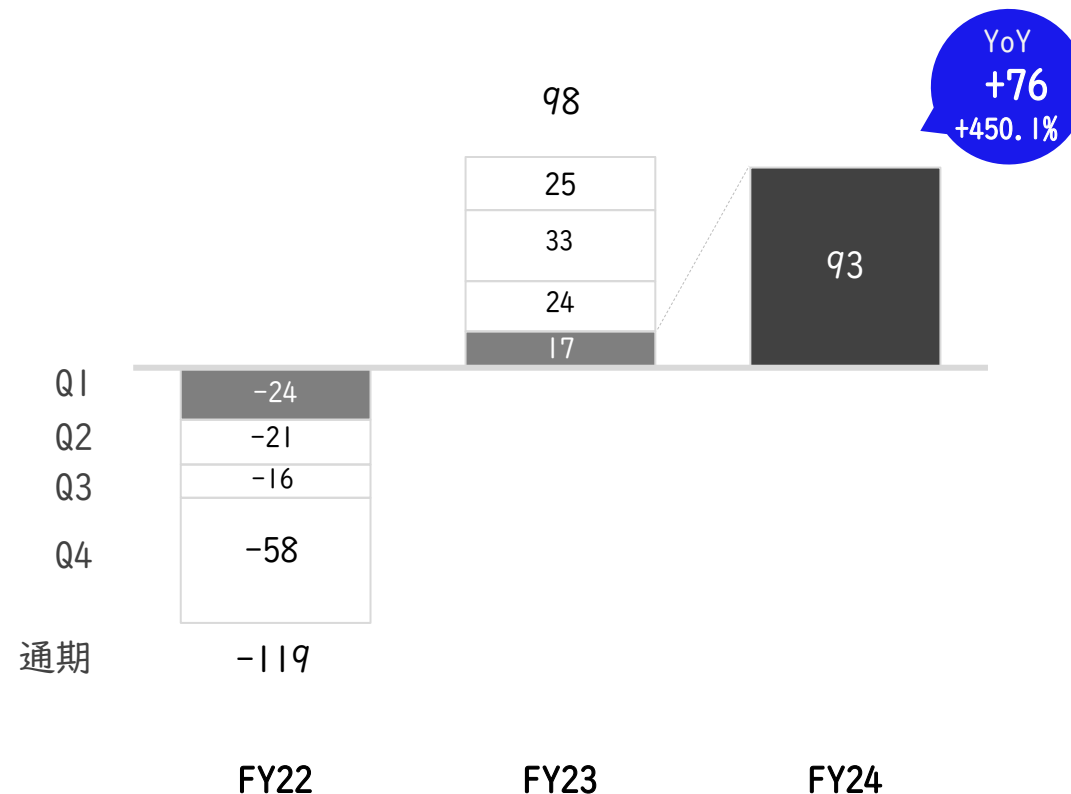
売上高
(億円)

PayPay
PayPay カード



EBITDA
(億円)

PayPay
PayPay カード

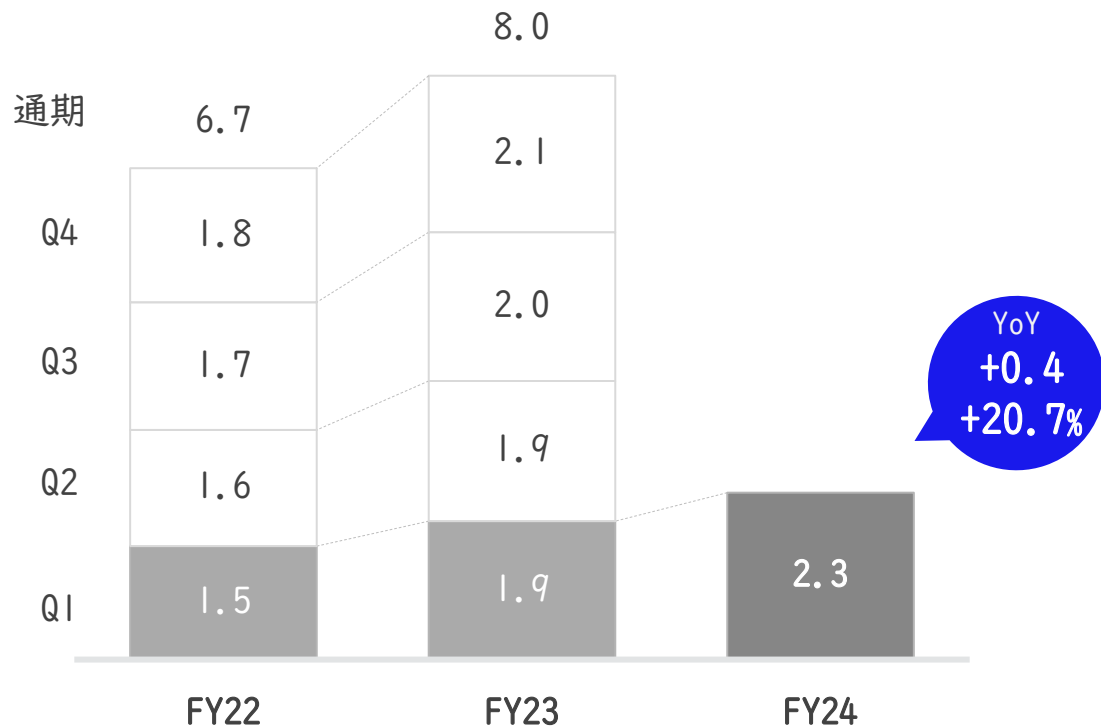


* 持分プーリング法の適用により、PayPayカード(株)の財務諸表をFY21期初からPayPay(株)に連結。IFRS、非監査。
EBITDAは営業利益に減価償却費および固定資産除却損を足して算出

決済取扱高は引き続き2桁成長、非通信が成長をけん引

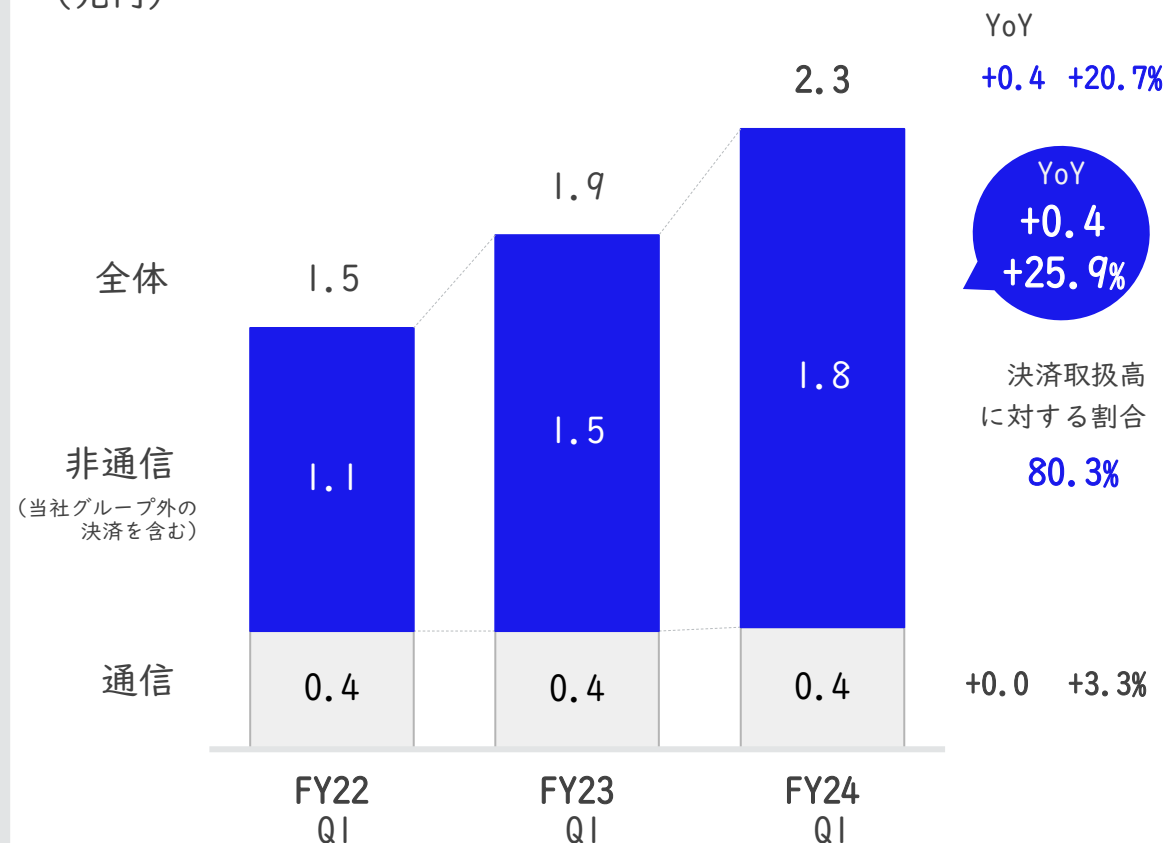
決済取扱高*1

(兆円)



決済取扱高(通信・非通信内訳)*1

(兆円)



*1：一部の取引における取引高の集計漏れがあり、FY22 Q1以降の決済取扱高および非通信領域における決済取扱高を遡及修正

- 取締役会の独立性及び多様性強化
 - ・ 2024年6月の株主総会にて、独立社外取締役を2名選任
独立社外取締役比率を過半数(54.5%)に引き上げ独立性を強化
 - ・ 女性取締役比率は27.3%に増加
- ソフトバンクの長期(2050年まで)の温室効果ガス削減目標
「ネットゼロ」が国際的気候変動イニシアチブの
「SBT*¹」認定を取得 ~24年6月~

APPENDIX

(億円)	FY23 Q1	FY24 Q1	増減	主な増減要因
売上高	14,297	15,357	+1,061	
売上原価	-7,137	-7,623	-486	
売上総利益	7,159	7,734	+575	
販売費及び一般管理費	-4,785	-5,102	-317	
その他の営業収益	105	432	+327	LYで計上した支配喪失益などの一時的要因により増加
その他の営業費用	-16	-25	-9	
営業利益	2,463	3,039	+576	
持分変動利益	198	28	-169	前年のWebtoonに対する持分変動利益の変動に伴う増加の反動
持分法による投資損益（-はマイナス）	-76	-28	+48	
金融収益	78	45	-33	
金融費用	-176	-377	-201	持分法会社のプットオプション評価損などにより増加
持分法による投資の売却損益	-	32	+32	
税引前利益	2,486	2,739	+253	
法人所得税	-750	-733	+17	
純利益	1,736	2,006	+270	
純利益の帰属				
親会社の所有者	1,467	1,625	+158	
非支配持分	269	381	+112	

（億円）	24年3月末	24年6月末	増減	主な増減要因
資産合計	155,219	156,909	+1,690	
流動資産合計	52,680	50,976	-1,705	
現金及び現金同等物	19,929	19,069	-860	営業債務支払いやPayPayカードにおける負債圧縮等により減少
営業債権及びその他の債権	26,610	25,775	-835	主にソフトバンクにおける通信債権および割賦債権の減少
その他の金融資産	2,297	2,582	+285	
棚卸資産	1,551	1,777	+226	
売買目的保有に分類された資産	426	-	-426	
その他の流動資産	1,868	1,772	-96	
非流動資産合計	102,539	105,933	+3,394	
有形固定資産	17,688	18,347	+659	
使用权資産	6,622	7,666	+1,044	主にWWJ事業承継による増加
のれん	20,494	20,619	+125	
無形資産	25,055	24,908	-147	
契約コスト	3,191	3,276	+85	
持分法で会計処理されている投資	2,515	3,122	+607	主にLYグループ傘下において子会社から持分法適用会社への異動が発生したことによる増加(IPX, LINE NEXTなど)
投資有価証券	2,728	2,911	+183	
銀行事業の有価証券	5,222	5,885	+663	PayPay銀行(株)における投資有価証券の増加
その他の金融資産	17,556	17,722	+166	
繰延税金資産	465	454	-12	
その他の非流動資産	1,002	1,023	+22	

(億円)	24年3月末	24年6月末	増減	主な増減要因
負債合計	115,863	117,787	+1,925	
流動負債合計	70,853	69,502	-1,350	
有利子負債	23,816	24,208	+392	ソフトバンクにおける各種の資金調達による増加や、WWJ事業承継に伴いリース負債(主に承継した不動産に係る将来賃料)を負債計上したことによるもの
営業債務及びその他の債務	25,351	24,039	-1,312	ソフトバンクやPayPayにおける未払金の減少
契約負債	1,283	1,415	+132	
銀行事業の預金	16,432	16,903	+472	PayPay銀行(株)における普通預金の増加
その他の金融負債	17	23	+6	
未払法人所得税	1,259	611	-648	主にソフトバンクにおける法人税納付による減少
引当金	333	369	+36	
売買目的保有に分類された資産に直接関連する負債	96	-	-96	
その他の流動負債	2,266	1,935	-331	
非流動負債合計	45,010	48,285	+3,275	
有利子負債	39,393	42,212	+2,819	短期に合わせて記載
その他の金融負債	453	443	-10	
引当金	995	1,219	+224	
繰延税金負債	3,019	3,222	+203	
その他の非流動負債	1,151	1,189	+38	

(億円)	24年3月末	24年6月末	増減	主な増減要因
資本合計(純資産)	39,356	39,121	-235	
親会社の所有者に帰属する持分	23,771	23,520	-250	
資本金	2,144	2,178	+34	
資本剰余金	7,361	7,254	-106	
利益剰余金	14,758	14,350	-408	ソフトバンクの配当支払い-2,037億円、純利益+1,625億円
自己株式	-758	-646	+113	
その他の包括利益累計額	267	384	+117	
非支配持分	15,586	15,601	+15	

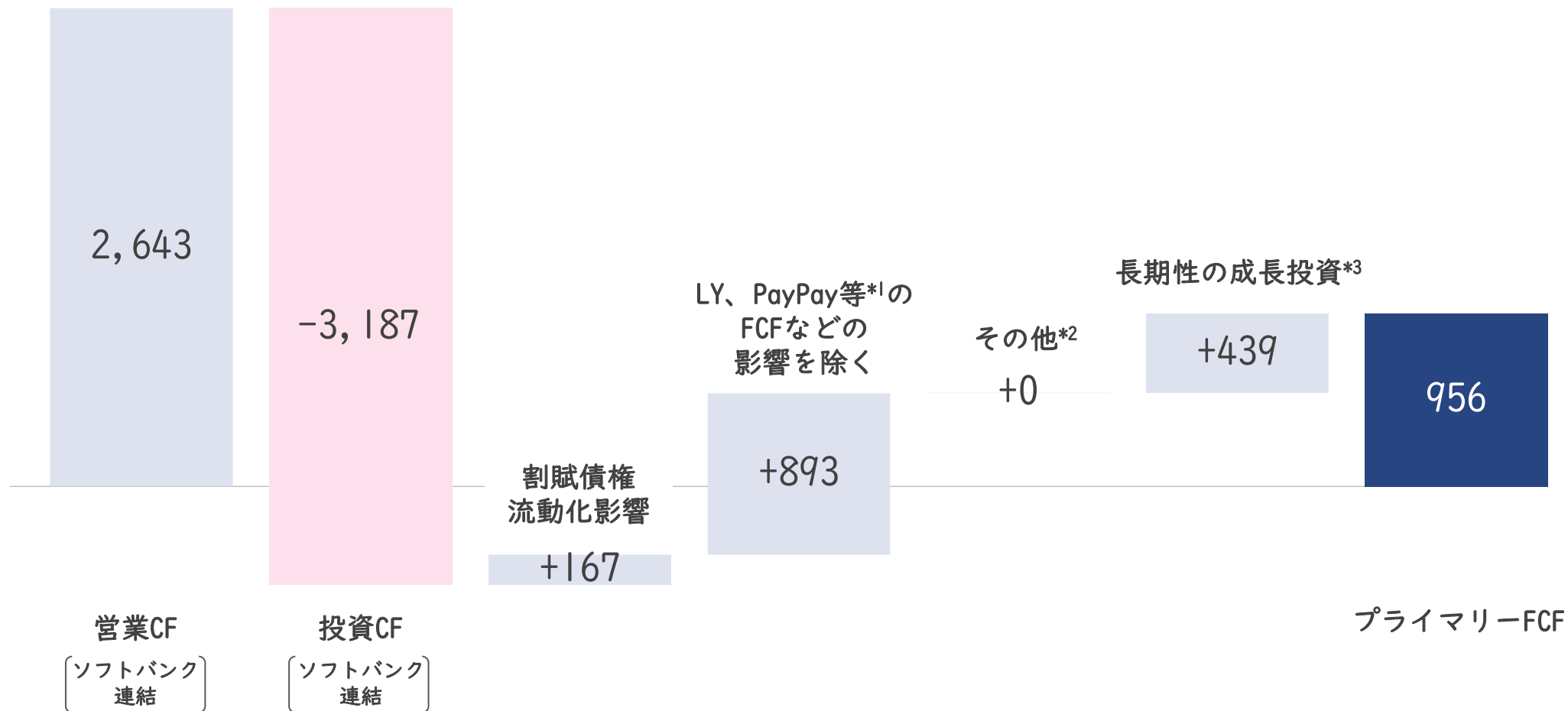
自己資本比率 ^{*1}	15.3%	15.0%	-0.3%	
純資産比率（総資産に対する資本の割合）	25.4%	24.9%	-0.4%	

*1：自己資本比率 = 親会社の所有者に帰属する持分 ÷ 総資産

(億円)	FY23 Q1	FY24 Q1	主な増減要因
営業活動によるCF	1,721	2,643	
純利益	1,736	2,006	
減価償却費	1,865	1,869	
ワーキング・キャピタル増減	-764	-989	
利息支払額	-141	-180	
法人所得税の支払額・還付額	-1,274	-802	
その他	300	740	
投資活動によるCF	-2,552	-3,187	
有形固定資産及び無形資産の取得による支出・収入	-1,674	-1,868	
投資の取得による支出・投資の売却または償還による収入	-294	-252	
子会社の支配獲得による収支	-98	-231	
その他	-486	-836	銀行事業における有価証券の取得による支出の増加
財務活動によるCF	-1,448	-706	
有利子負債の収入	4,087	4,715	
有利子負債の支出	-4,072	-3,059	
短期有利子負債の純増減	581	21	
株式の発行による収入	-	74	
配当金の支払額	-2,012	-2,014	
非支配持分への配当金の支払額	-218	-248	
その他	186	-195	SBテクノロジー(株)の株式公開買付による支出の増加
現金及び現金同等物に係る換算差額	70	59	
売却目的保有に分類された資産への振替に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	330	
現金及び現金同等物の期首残高	20,592	19,929	
現金及び現金同等物の期末残高	18,383	19,069	

調整後FCF(LY, PayPay等除く)	473	516	
プライマリーFCF	473	956	

(億円)



*1: 「LY、PayPay等」はAHD、LYグループ、BHD、PayPay(株)、PayPayカード(株)、PayPay証券(株)などを指す *2: AHDからの受取配当を含む *3: AI計算基盤の投資を含む

		(億円)	24年3月末	24年6月末	増減
PayPay連結*1	BS	資産合計 (総資産)	19,002	17,116	-1,887
		現金・預金	5,808	3,224	-2,583
		その他資産	13,195	13,892	+697
		負債合計	18,466	16,532	-1,934
		有利子負債*2	6,762	5,395	-1,367
		その他負債*2	11,704	11,137	-568
		資本合計 (純資産)	536	584	+48
		(億円)	FY23 Q1	FY24 Q1	増減
PL	売上高		480	572	+92
	EBITDA		17	93	+76

		(億円)	24年3月末	24年6月末	増減
SBペイメント サービス(株)*3	BS	資産合計 (総資産)	2,550	2,421	-129
		現金及び現金同等物	126	209	+83
		営業債権及びその他の債権	861	833	-29
		その他資産	1,563	1,379	-183
		負債合計	2,145	1,992	-153
		営業債務及びその他の債務	2,090	1,961	-129
		その他負債	55	31	-24
資本合計 (純資産)	405	429	+24		
		(億円)	FY23 Q1	FY24 Q1	増減
PL	売上高		60	66	+6
	営業利益		28	30	+2

*1 PayPay連結財務諸表、IFRS、非監査 *2 24年3月末の数値は、集計誤りにより訂正
 *3 単体財務諸表、日本基準。24年3月末の数値は監査済み、24年6月末の数値は監査未了

2024年6月末時点の関係会社：303社（うち子会社 226社、関連会社*1 77社）

報告セグメント	会社名	議決権所有割合	主な事業内容
コンシューマ	Wireless City Planning(株)	31.8%	電気通信事業（経済的持分比率：99.5%）
	SBモバイルサービス(株)	100.0%	コールセンター事業
	SBパワー(株)	100.0%	電力の売買業務および売買の仲介業務
エンタープライズ	SBエンジニアリング(株)	100.0%	電気通信に関わる構築、運用など
	(株)IDCフロンティア	100.0%	データセンター事業
	(株)イーエムネットジャパン	41.2% *3	インターネット広告事業
	Cubic Telecom Ltd.	54.3%	コネクテッドカー・SDCV(Software-Defined Connected Vehicle)向けIoTプラットフォームの提供
	SBテクノロジー(株) *2	88.1% *4	クラウドサービス、セキュリティ運用監視サービス、IoTソリューションの提供
	サイバートラスト(株) *2	57.6% *5	IoT、Linux/OSS、認証・セキュリティサービス
ディストリビューション	SB C&S(株)	100.0%	IT関連製品の流通・販売、IT関連サービスの提供
メディア・EC	LINEヤフー(株)	64.4%	インターネット広告事業、イーコマース事業及び会員サービス事業などの展開並びにグループ会社の経営管理業務など
	(株)ZOZO	51.5% *5	ファッション EC サイトの運営、プライベートブランドの販売、ファッションメディアの運営等
	アスクル(株)	45.3% *6	オフィス関連商品の販売事業、その他の配送事業
	(株)一休	100.0%	高級ホテルや旅館、厳選レストラン等のインターネット予約サイト運営事業
	PayPay銀行(株)	46.6%	銀行業

青：上場企業

*1：関連会社には共同支配企業を含む

*2：FY24 Q1より「その他」に区分されていたSBテクノロジー(株)およびサイバートラスト(株)等を「エンタープライズ事業」に移管

*3：2023年12月末時点 *4：2024年6月12日時点。プレスリリース「SBテクノロジー株式会社株券等(証券コード 4726)に対する公開買付けの結果に関するお知らせ」より掲載

*5：2024年3月末時点 *6：2024年5月20日時点

報告セグメント	会社名	議決権所有割合	主な事業内容
ファイナンス	PayPay(株)	69.8%	モバイルペイメント等電子決済サービスの開発・提供
	PayPayカード(株)	100.0%	クレジット
	SBペイメントサービス(株)	100.0%	決済サービス
	PayPay証券(株)	66.0%	スマートフォン専業の証券業
その他 (子会社)	SBメディアホールディングス(株)	100.0%	アイティメディア等の株式を保有する持株会社
	アイティメディア(株)	53.4% *1	IT総合情報サイト「ITmedia」の運営

青：上場企業

報告セグメント	会社名	議決権所有割合	主な事業内容
関連会社	(株)ジーニー	31.7% *1	マーケティングテクノロジー事業
	(株)出前館	36.8% *2	インターネットサイト「出前館」の運営およびそれにかかわる事業

青：上場企業

*1：2024年3月末時点

*2：2023年8月末時点

免責事項

本資料は、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する発行登録目論見書、発行登録追補目論見書(作成された場合)及びそれらの訂正事項分(作成された場合)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

また、本資料は米国における証券の募集を構成するものではありません。米国1933年証券法に基づいて証券の登録を行う又は登録の免除を受ける場合を除き、米国内において証券の募集又は販売を行うことはできません。米国における証券の公募が行われる場合には、米国1933年証券法に基づいて作成される英文目論見書が用いられます。当該目論見書は、当該証券の発行会社又は売出人より入手することができますが、これには、発行会社及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本資料中に言及された証券の公募は米国において行われません。



SoftBank